

令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）
に関する区民アンケート調査

《 集計結果 》

令和8年2月

荒 川 区

目次

I	調査の概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査の概要	1
II	回答者の属性	4
III	集計	8
1.	健康・福祉	8
(1)	運動の実施	8
(2)	健康的な食生活	8
(3)	体の休息	9
(4)	つながり	9
(5)	自分の役割	10
(6)	心の安らぎ	10
(7)	医療の充実	11
(8)	福祉の充実	11
(9)	健康の実感	12
(10)	幸せにとって特に重要だと思うもの	13
2.	子育て・教育	14
(1)	規則正しい生活習慣	14
(2)	「生きる力」の習得	14
(3)	親子コミュニケーション	15
(4)	家族の理解・協力	15
(5)	子育て・教育環境の充実	16
(6)	地域の子育てへの理解・協力	16
(7)	望む子育てができる環境の充実	17
(8)	子どもの成長の実感	17
(9)	幸せにとって特に重要だと思うもの	18
3.	産業	19
(1)	生活の安定	19
(2)	ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	19
(3)	仕事のやりがい	20
(4)	まちの産業	20
(5)	買い物の利便性	21
(6)	まちの魅力	21
(7)	生活のゆとり	22
(8)	幸せにとって特に重要だと思うもの	23
4.	環境	24
(1)	施設のバリアフリー	24
(2)	心のバリアフリー	24
(3)	交通利便性	25
(4)	まちなみの良さ	25
(5)	周辺環境の快適さ	26
(6)	持続可能性	26
(7)	生活環境の充実	27
(8)	幸せにとって特に重要だと思うもの	28

5. 文化	29
(1) 興味・関心事への取組.....	29
(2) 生涯学習環境の充実.....	29
(3) 地域への愛着.....	30
(4) 地域の人との交流の充実.....	30
(5) 地域に頼れる人がいる実感.....	31
(6) 文化的寛容性.....	31
(7) 充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感.....	32
(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの.....	33
6. 安全・安心	34
(1) 防犯性	34
(2) 交通安全性	34
(3) 生活安全性	35
(4) 個人の備え	35
(5) 災害時の絆・助け合い.....	36
(6) 防災性	36
(7) 安全・安心の実感.....	37
(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの.....	38
7. 総合	39
(1) 6つの分野について幸せにとって重要だと思う順位.....	39
(2) 幸福実感	40
8. 自由記述	41
(1) 幸せにとって重要だと思うこと.....	41
(2) 不幸・不安だと感じること.....	43
(3) 人生に影響を与えるような出来事.....	45
IV 参考資料（調査依頼文及び調査票）	53

I 調査概要

1. 調査の目的

荒川区では、だれもが幸せを実感できるまち「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指して、荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハピネス：GAH）の取組を進めている。

本調査は、区民の皆様が日々の生活の中で感じていることや地域について実感していることなどを把握し、今後の区政に資することを目的とする。

2. 調査の概要

(1) アンケート項目

荒川区基本構想に定める6つの都市像に対応した「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6つの分野ごとの区民の幸福実感及び自由記述、属性等。

(2) 調査票

- ①調査票は冊子（日本語、英語、簡体中国語、ハングル）及び荒川区の電子申請を利用したインターネット上（日本語）のものとした。
- ②総設問数は71問（自由記述3問、フェイスシート15問を含む）。

(3) 調査設計及び調査方法

調査区域	荒川区全域
母集団	荒川区在住の満18歳以上の男女個人（荒川区住民基本台帳による）
標本数	4,000標本
抽出方法	層化2段無作為抽出（抽出は区で実施）
調査期間	令和7年7月30日～令和7年9月1日
配布方法	郵送配布、礼状兼督促はがきの発送
回収方法	郵送回収、荒川区の電子申請による回収

(4) 回収結果

配布数4,000に対して、1,700件を回収し、回収率は42.5%となった。

○回収方法別

回収方法	回収数	構成比
郵送回収	1,030	60.6%
電子申請	667	39.2%
持参	3	0.2%
合計	1,700	100.0%

○地域別

地区	対象人口	構成比	配布数	回収数	回収率
南千住	39,881	20.4%	815	331	40.6%
荒川	30,144	15.4%	616	302	49.0%
町屋	26,184	13.4%	535	226	42.2%
東尾久	25,135	12.8%	514	199	38.7%
西尾久	23,513	12.0%	480	219	45.6%
東日暮里	28,754	14.7%	588	198	33.7%
西日暮里	22,099	11.3%	452	186	41.2%
無回答	—	—	—	39	—
合計	195,710	100.0%	4,000	1,700	42.5%

※対象人口（18歳以上の区民）は、令和7年6月1日時点のものです。

○年令別

年令	対象人口	構成比	配布数	回収数	回収率
18・19歳	4,009	2.0%	80	18	22.5%
20代	33,009	16.9%	662	162	24.5%
30代	32,948	16.8%	684	234	34.2%
40代	32,320	16.5%	675	260	38.5%
50代	32,649	16.7%	655	307	46.9%
60代	22,070	11.3%	456	254	55.7%
70代	21,528	11.0%	449	274	61.0%
80歳以上	17,177	8.8%	339	173	51.0%
無回答	—	—	—	18	—
合計	195,710	100.0%	4,000	1,700	42.5%

※対象人口（18歳以上の区民）は、令和7年6月1日時点のものです。

(5) 本調査結果報告書の留意点

- ①比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- ②回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出している。従って、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- ③この調査の標本誤差は、おおよそ下記のとおりである。標本誤差は次表によって得られ、①比率算出の基数(n)及び②回答の比率(P)によって誤差幅が異なる。ただし信頼度は95.0%とする。

$$\text{標本誤差} = \pm \lambda \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

λ = 信頼係数
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数
 P = 回答の比率

回答比率 (P) 基数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,700	±1.4	±1.9	±2.2	±2.4	±2.4
1,500	±1.5	±2.1	±2.4	±2.5	±2.6
1,200	±1.7	±2.3	±2.6	±2.8	±2.9
900	±2.0	±2.7	±3.1	±3.3	±3.3
600	±2.4	±3.3	±3.7	±4.0	±4.1
300	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8

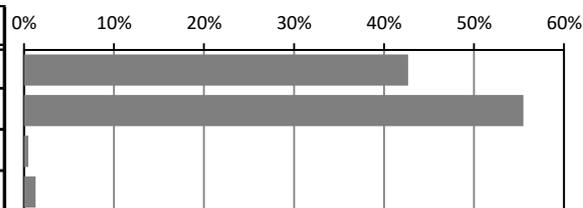
- (注) 1. 表はλ ≒ 2として算出した。
 2. N - n / N - 1 ≒ 1として算出した。
 3. 層化を行った場合の誤差は上記表の値よりやや小さくなる。
 4. この表の見方は次のとおりである。

ある設問の回答が1,700人であり、その設問中の選択肢の回答が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.2%の範囲内(67.8%~72.2%)である。

II 回答者の属性

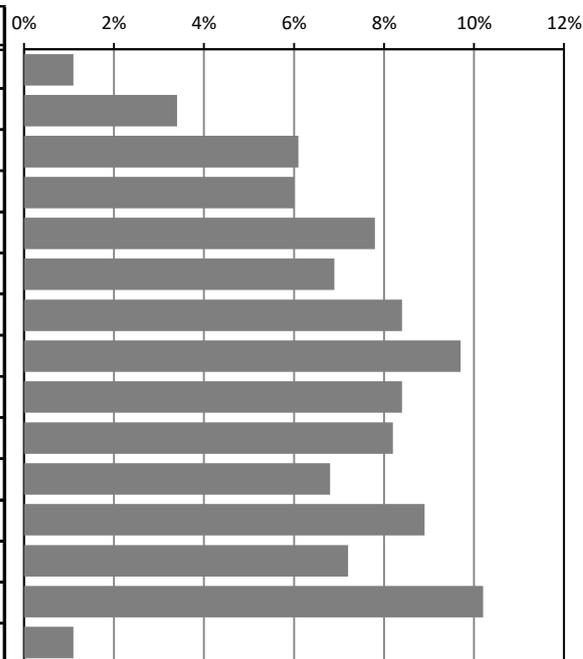
(1) 性別

項目	人	構成比
男性	726	42.7%
女性	943	55.5%
その他(どちらでもない、わからない)	9	0.5%
無回答	22	1.3%
全体	1,700	100.0%



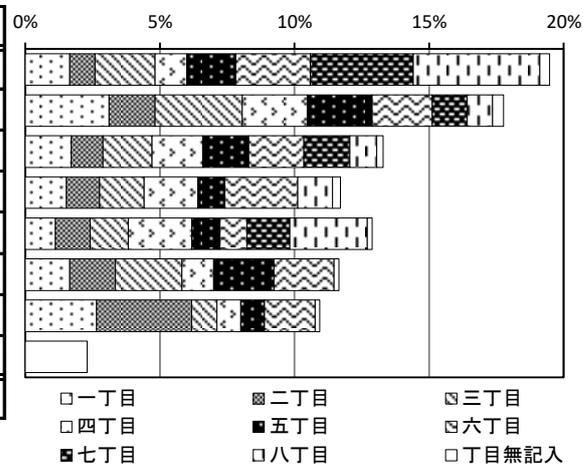
(2) 年代

項目	人	構成比
18・19 歳	18	1.1%
20～24 歳	58	3.4%
25～29 歳	104	6.1%
30～34 歳	102	6.0%
35～39 歳	132	7.8%
40～44 歳	118	6.9%
45～49 歳	142	8.4%
50～54 歳	165	9.7%
55～59 歳	142	8.4%
60～64 歳	139	8.2%
65～69 歳	115	6.8%
70～74 歳	151	8.9%
75～79 歳	123	7.2%
80 歳以上	173	10.2%
無回答	18	1.1%
全体	1,700	100.0%



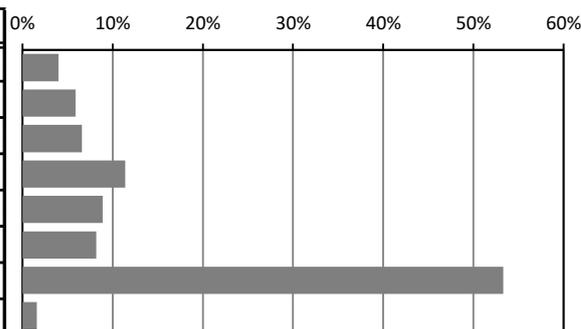
(3) 居住地

項目	人	構成比
南千住	331	19.5%
荒川	302	17.8%
町屋	226	13.3%
東尾久	199	11.7%
西尾久	219	12.9%
東日暮里	198	11.6%
西日暮里	186	10.9%
無回答	39	2.3%
全体	1,700	100.0%



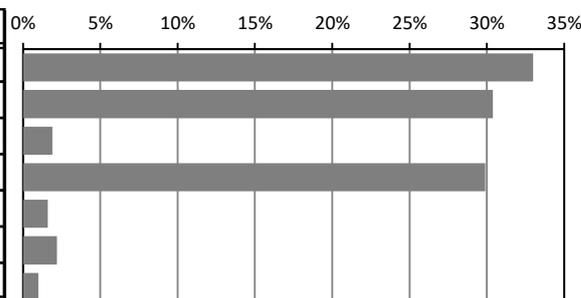
(4) 居住年数

項目	人	構成比
1年未満	68	4.0%
1～2年	101	5.9%
3～4年	113	6.6%
5～9年	194	11.4%
10～14年	151	8.9%
15～19年	140	8.2%
20年以上	906	53.3%
無回答	27	1.6%
全体	1,700	100.0%



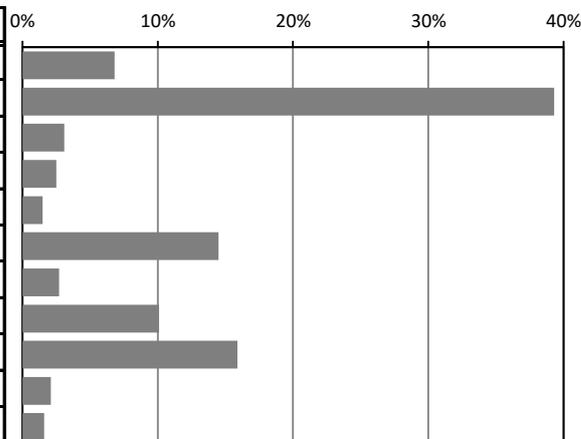
(5) 居住形態

項目	人	構成比
持ち家(一戸建て)	561	33.0%
持ち家(集合住宅)	516	30.4%
借家(一戸建て)	33	1.9%
借家(集合住宅)	508	29.9%
寮・社宅	27	1.6%
その他	38	2.2%
無回答	17	1.0%
全体	1,700	100.0%



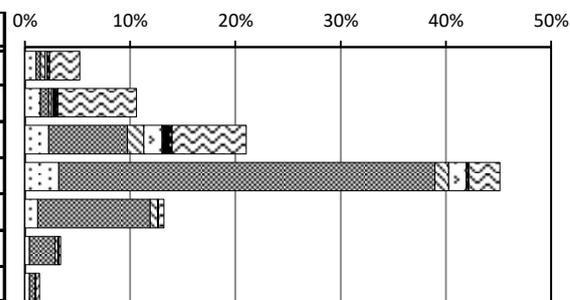
(6) 職業 (複数職がある場合は、主となる方を選択)

項目	人	構成比
自営業主	116	6.8%
正規の職員、従業員	668	39.3%
会社などの役員	52	3.1%
労働者派遣事業所の派遣社員	43	2.5%
家族従業者	25	1.5%
パート、アルバイトなど	246	14.5%
学生	46	2.7%
専業主婦、専業主夫	172	10.1%
無職	270	15.9%
その他	35	2.1%
無回答	27	1.6%
全体	1,700	100.0%



(7) 平均就業時間 (休憩時間は除き、残業時間は含む)

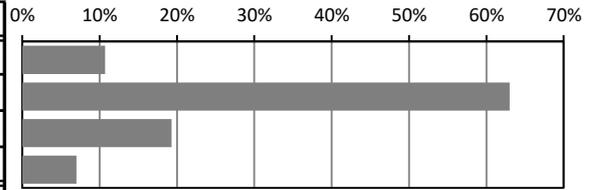
項目	人	構成比
4時間未満	60	5.2%
4～5時間	122	10.6%
6～7時間	242	21.0%
8～9時間	519	45.1%
10～11時間	152	13.2%
12時間以上	39	3.4%
無回答	16	1.4%
全体	1,150	100.0%



- 自営業主
- 正規の職員、従業員
- ▨ 会社などの役員
- 労働者派遣事業所の派遣社員
- 家族従業者
- ▨ パート、アルバイトなど

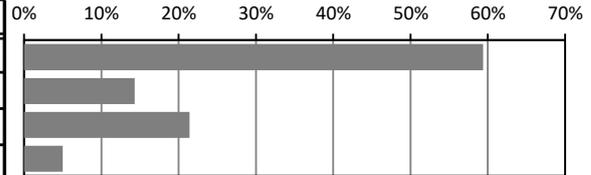
(8) 無職の方の現状

項目	人	構成比
仕事を探している	29	10.7%
仕事を探していない	170	63.0%
その他	52	19.3%
無回答	19	7.0%
全体	270	100.0%



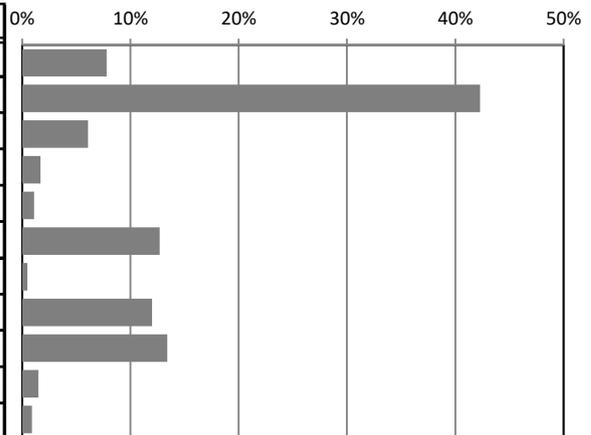
(9) 配偶者の有無

項目	人	構成比
現在、配偶者またはパートナーがいる	1,009	59.4%
離婚・死別等で現在は配偶者またはパートナーがいない	243	14.3%
配偶者またはパートナーがいたことはない	363	21.4%
無回答	85	5.0%
全体	1,700	100.0%



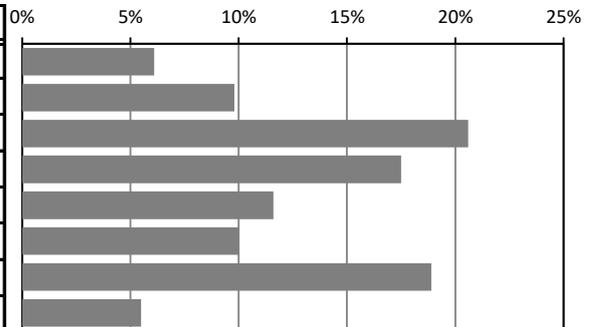
(10) 配偶者の職業（複数職がある場合は、主となる方を選択）

項目	人	構成比
自営業主	79	7.8%
正規の職員、従業員	427	42.3%
会社などの役員	62	6.1%
労働者派遣事業所の派遣社員	17	1.7%
家族従業者	11	1.1%
パート、アルバイトなど	128	12.7%
学生	5	0.5%
専業主婦、専業主夫	121	12.0%
無職	135	13.4%
その他	15	1.5%
無回答	9	0.9%
全体	1,009	100.0%



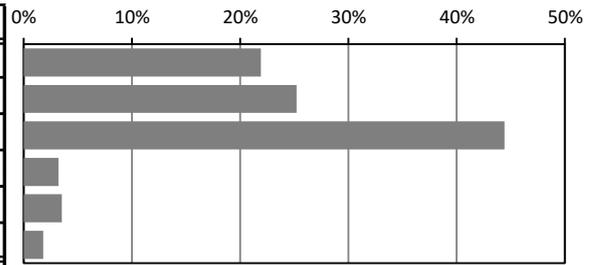
(11) 世帯全体の年間収入

項目	人	構成比
100万円未満	104	6.1%
100万円以上200万円未満	166	9.8%
200万円以上400万円未満	350	20.6%
400万円以上600万円未満	298	17.5%
600万円以上800万円未満	197	11.6%
800万円以上1000万円未満	170	10.0%
1000万円以上	321	18.9%
無回答	94	5.5%
全体	1,700	100.0%



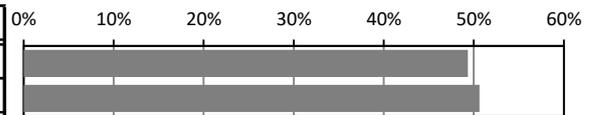
(12) 家族構成

項目	人	構成比
一人暮らし	373	21.9%
夫婦のみ(事実婚・パートナーを含む)	429	25.2%
親・子(二世世代家族)	754	44.4%
親・子・孫(三世世代家族)	54	3.2%
その他	59	3.5%
無回答	31	1.8%
全体	1,700	100.0%



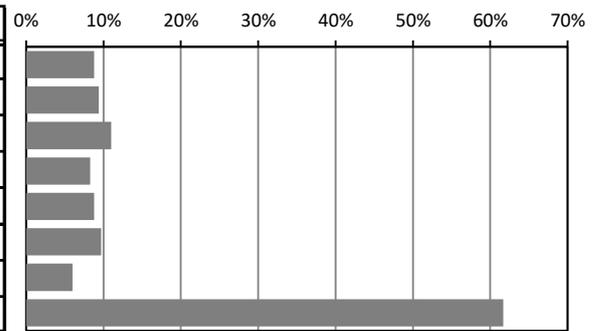
(13) 子どもの有無

項目	人	構成比
あり	839	49.4%
なし(無回答を含む)	861	50.6%
全体	1,700	100.0%



(14) 子どもの年齢(複数回答)

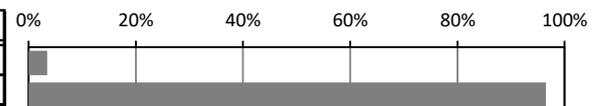
項目	人	構成比
0～2歳	74	8.8%
3～5歳	79	9.4%
6～8歳	92	11.0%
9～11歳	70	8.3%
12～14歳	74	8.8%
15～17歳	81	9.7%
18～19歳	50	6.0%
20歳以上	518	61.7%
全体	1,038	-



※構成比の分母は子どものいる839名

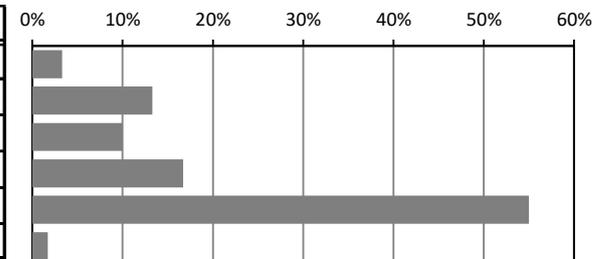
(15) 外国籍

項目	人	構成比
外国籍である	60	3.5%
無回答	1,640	96.5%
全体	1,700	100.0%



(16) 日本での居住年数

項目	人	構成比
1年未満	2	3.3%
1～2年	8	13.3%
3～4年	6	10.0%
5～9年	10	16.7%
10年以上	33	55.0%
無回答	1	1.7%
全体	60	100.0%



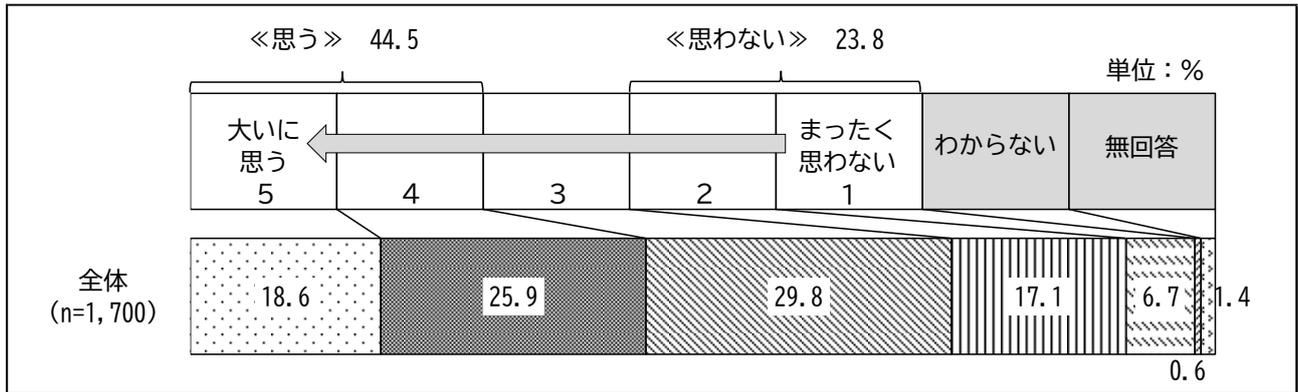
Ⅲ 集計

1. 健康・福祉

(1) 運動の実施

■ 「思う」が4割台半ばを占める。

問1 (1) 体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？
 ※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含まれます。

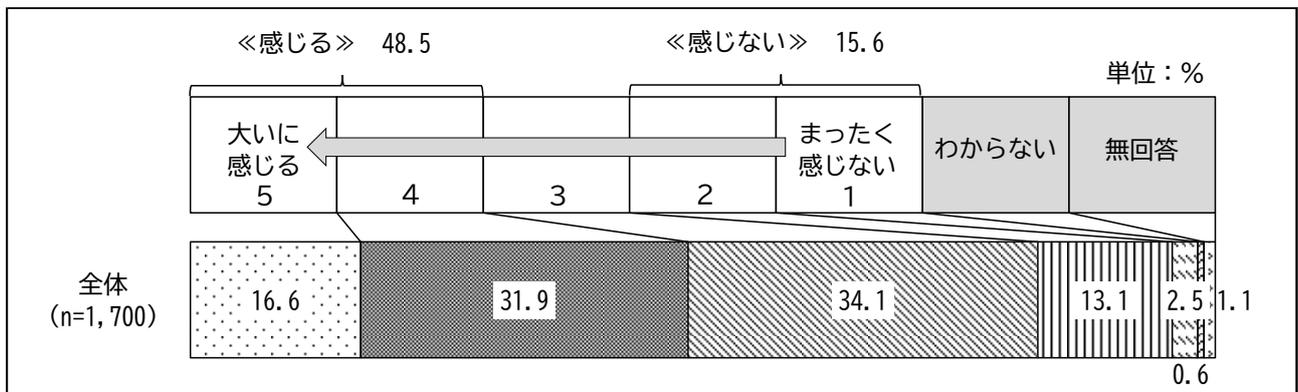


体を動かしたり運動したりすることができていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「思う」は44.5%と4割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「思わない」の23.8%を上回る。

(2) 健康的な食生活

■ 「感じる」が約5割を占める。

問1 (2) 健康的な食生活を送ることができていると感じますか？

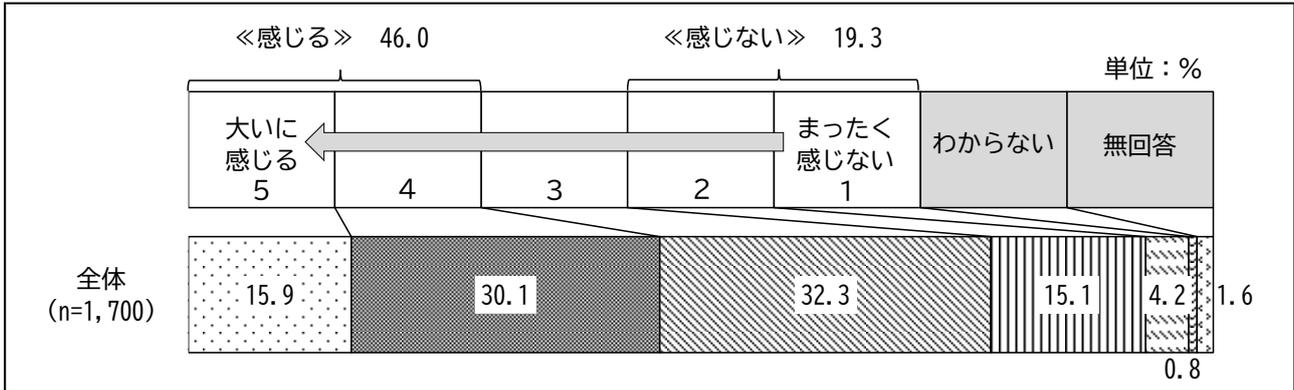


健康的な食生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は48.5%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の15.6%を上回る。

(3) 体の休息

■ 「感じる」が4割台半ばを占める。

問1 (3) 体を休めることができていると感じますか？

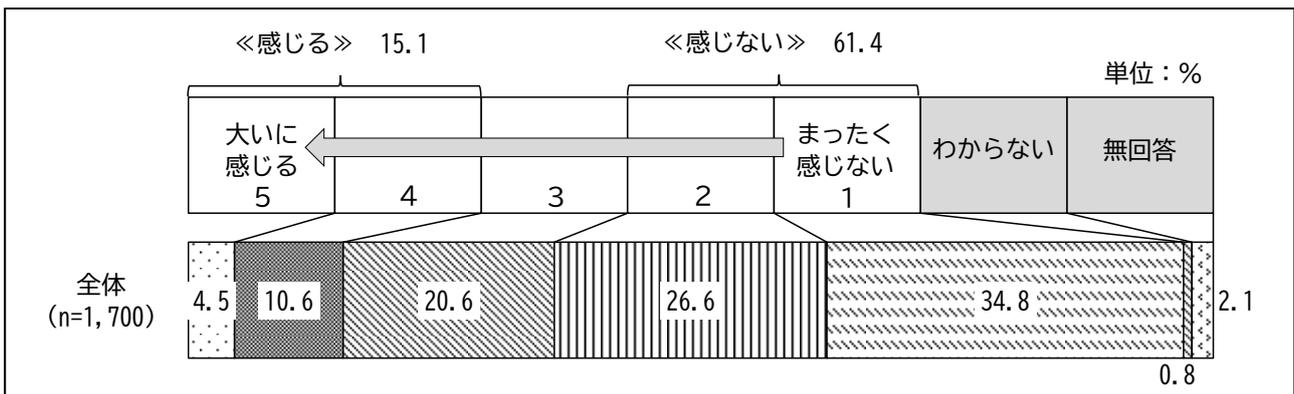


体を休めることができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は46.0%と4割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の19.3%を上回る。

(4) つながり

■ 「感じない」が約6割を占める。

問1 (4) 孤立感や孤独感を感じますか？

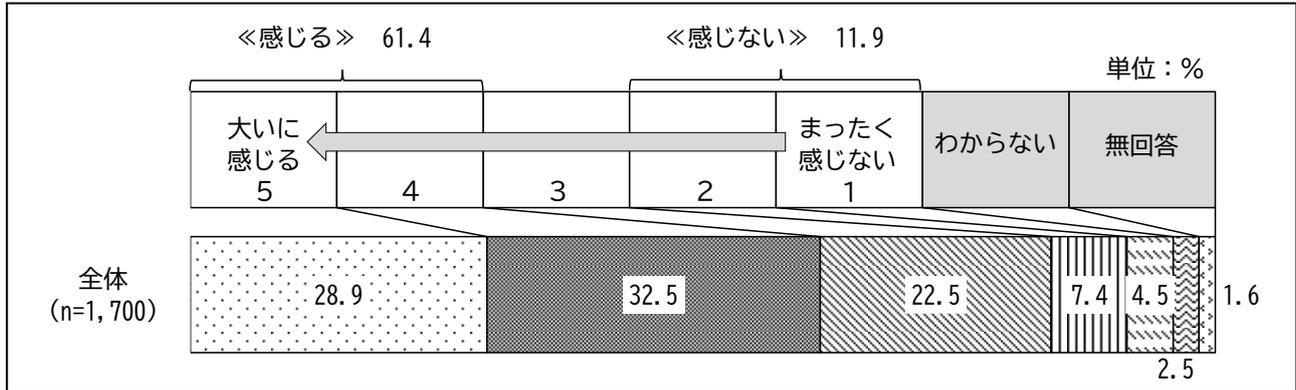


孤立感や孤独感を感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は61.4%と約6割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の15.1%を上回る。

(5) 自分の役割

■ 「感じる」が約6割を占める。

問1 (5) 家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？

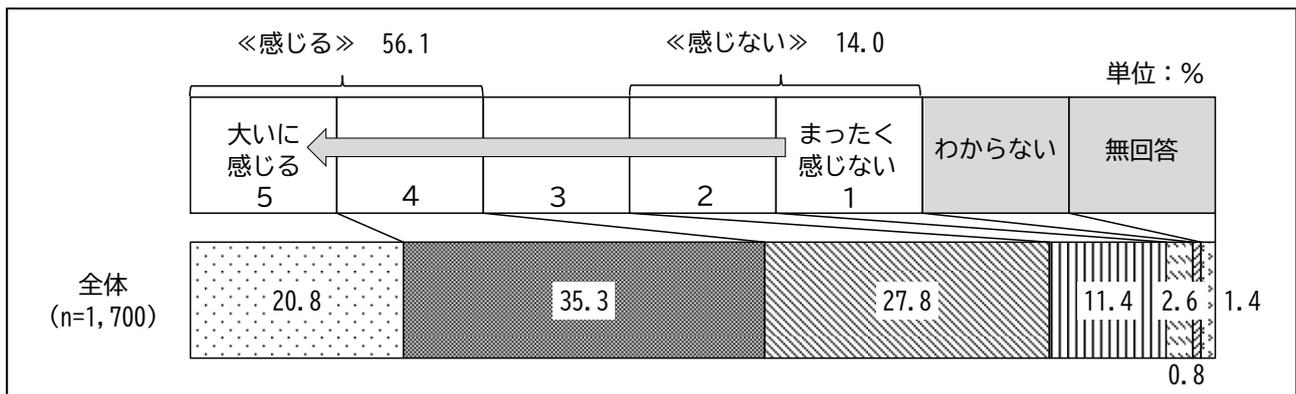


家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は61.4%と約6割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の11.9%を上回る。

(6) 心の安らぎ

■ 「感じる」が5割台半ばを占める。

問1 (6) 心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？

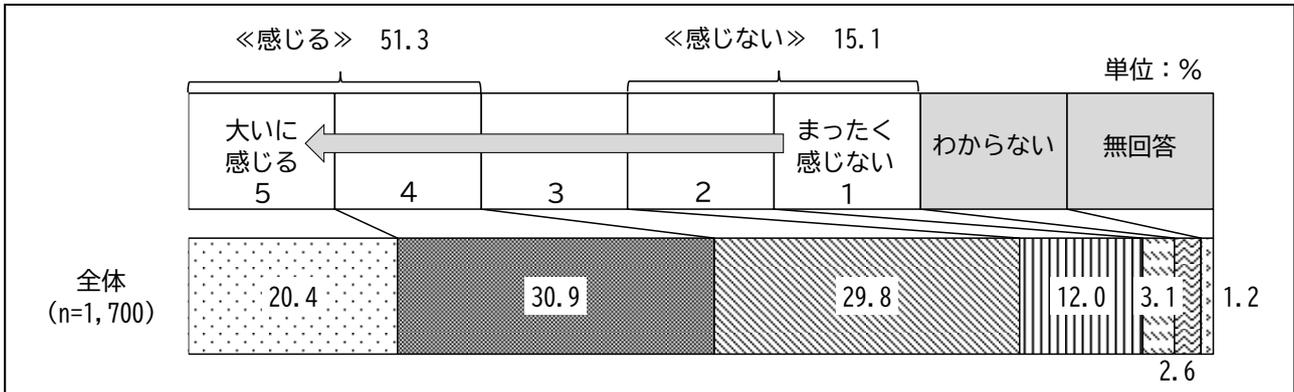


心が安らぐ時間を持つことができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は56.1%と5割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の14.0%を上回る。

(7) 医療の充実

■ 「感じる」が約5割を占める。

問1 (7) お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？



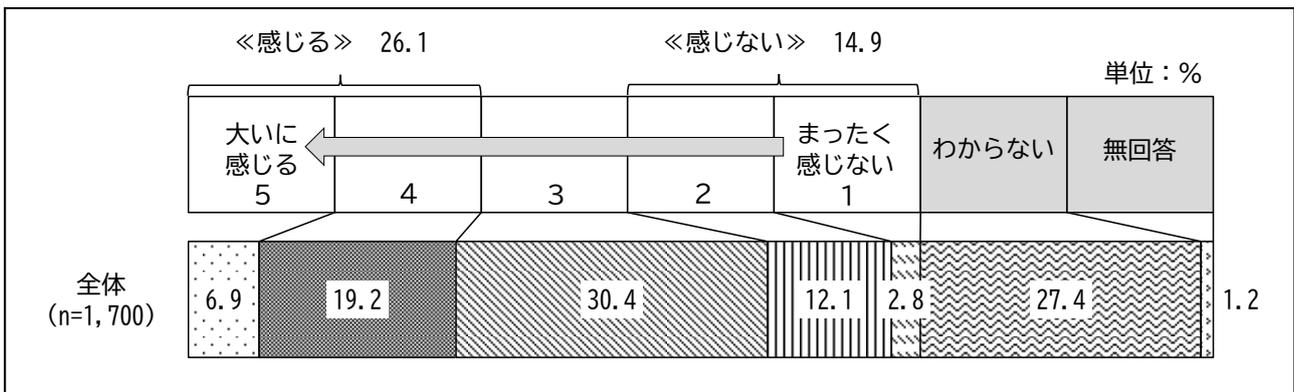
お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は 51.3%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の 15.1%を上回る。

(8) 福祉の充実

■ 「感じる」が2割台半ばを占める。

問1 (8) お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？

※福祉の充実とは、高齢者の介護施設や障がい者の生活支援施設といった施設の数や福祉サービスの質の充実などを指します。

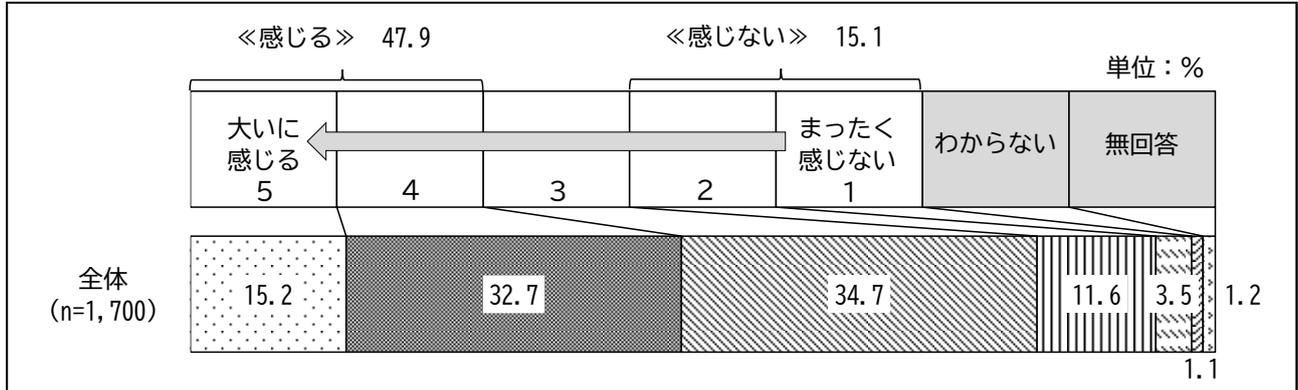


お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は 26.1%と2割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の 14.9%を上回る。

(9) 健康の実感

■ 「感じる」が約5割を占める。

問1 (9) 心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？

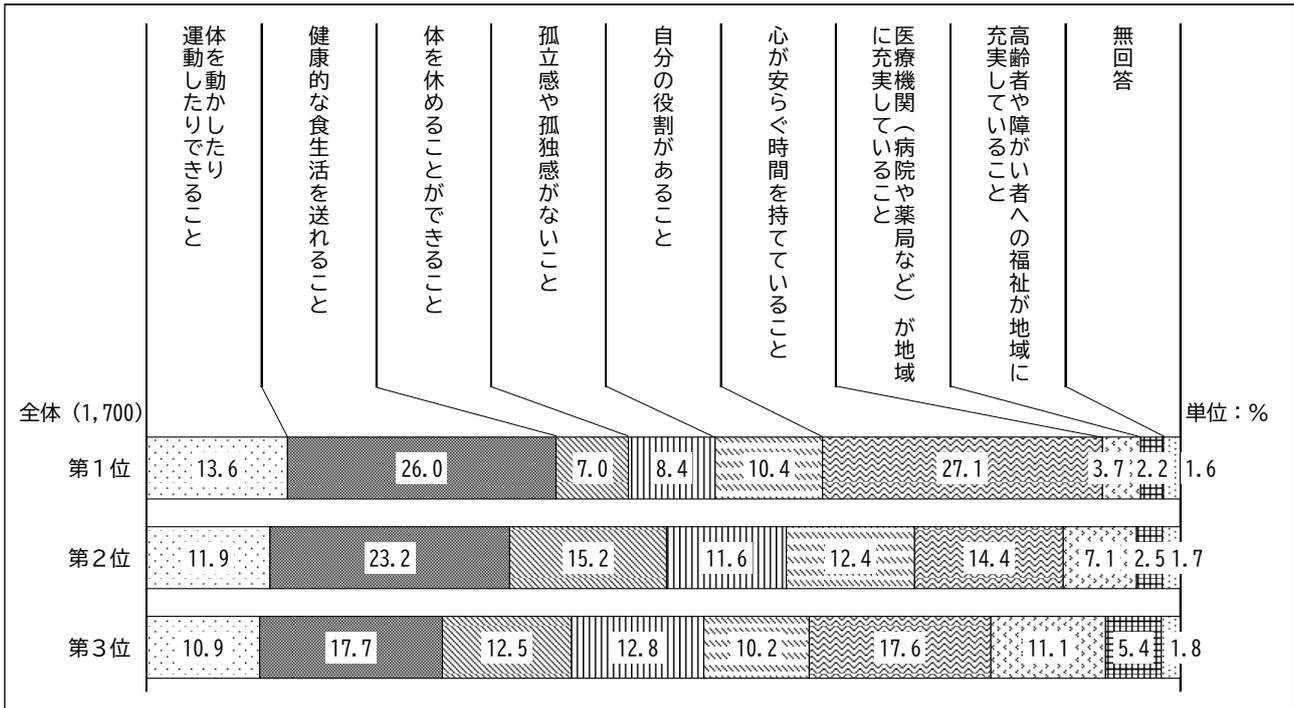


心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は47.9%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の15.1%を上回る。

(10) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「心が安らぐ時間を持っていること」が約3割。
- ≪第2位≫ 「健康的な食生活を送れること」が約2割。
- ≪第3位≫ 「健康的な食生活を送れること」が約2割。

問2 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「心が安らぐ時間を持っていること」が27.1%で最も高く、次いで「健康的な食生活を送れること」が26.0%で続く。また、第2位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が23.2%で最も高く、第3位として選択した項目は「健康的な食生活を送れること」が17.7%で最も高い結果となった。

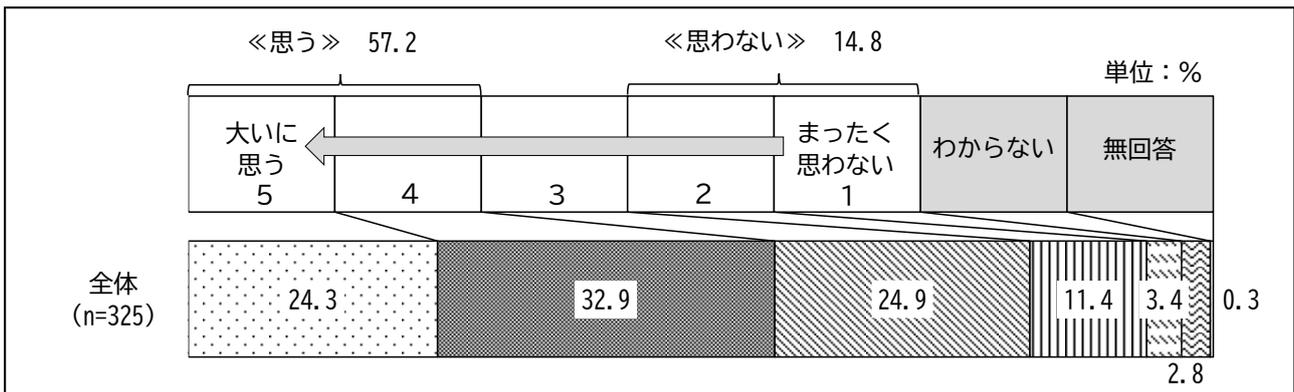
2. 子育て・教育

※子育て・教育分野は18歳未満のお子さん（同居・別居問わず）がいる方のみ回答

(1) 規則正しい生活習慣

■ 《思う》が約6割を占める。

問3 (1) お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思いますか？

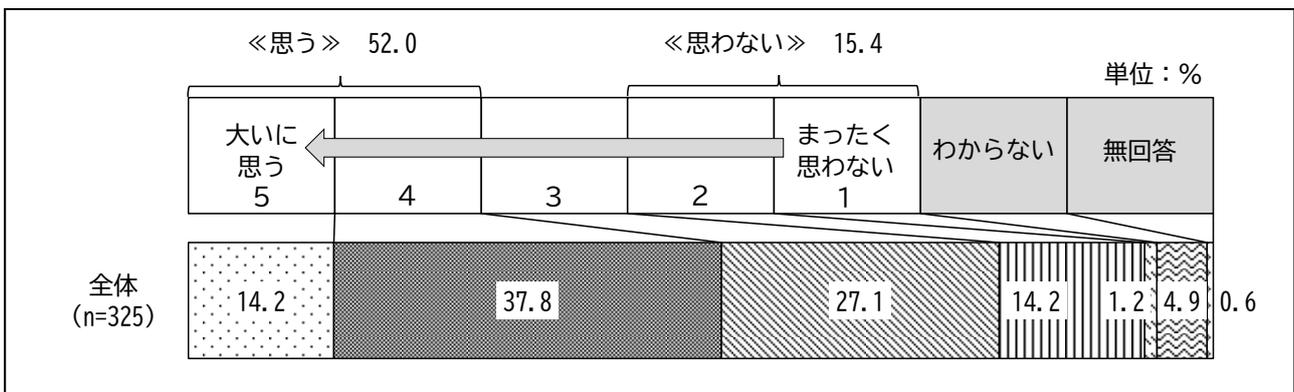


お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《思う》は57.2%と約6割を占め、「1」と「2」を合わせた《思わない》の14.8%を上回る。

(2) 「生きる力」の習得

■ 《思う》が約5割を占める。

問3 (2) お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思いますか？

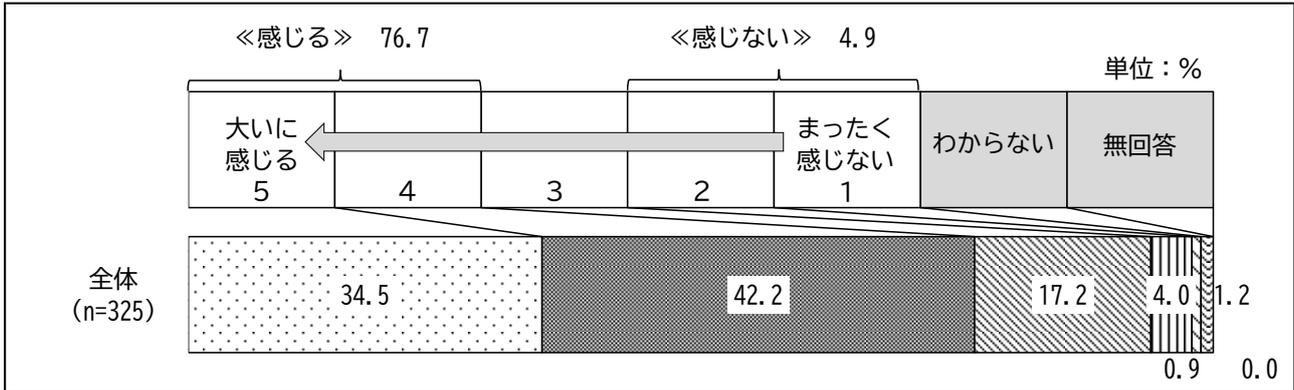


お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《思う》は52.0%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた《思わない》の15.4%を上回る。

(3) 親子コミュニケーション

■ 「感じる」が約8割を占める。

問3 (3) 親子の間でコミュニケーションがとれていると感じますか？

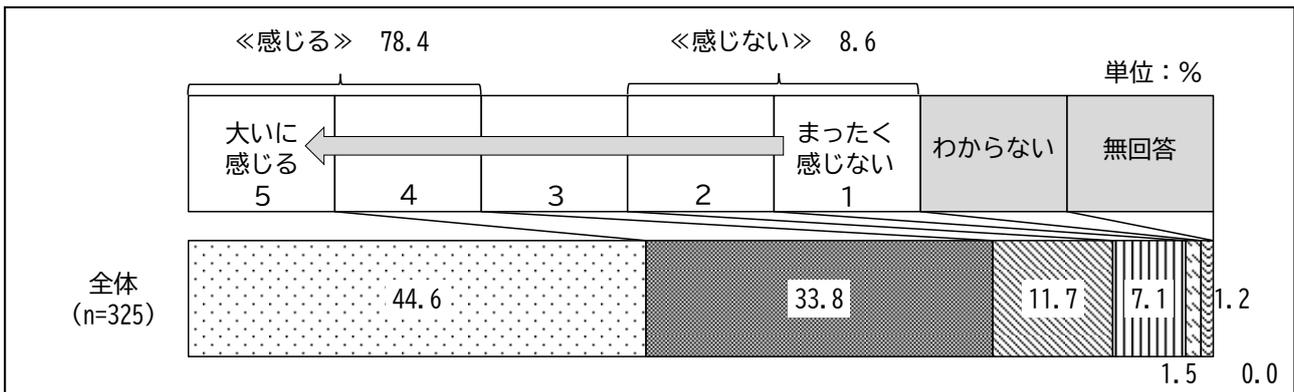


親子の間でコミュニケーションがとれていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は76.7%と約8割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の4.9%を上回る。

(4) 家族の理解・協力

■ 「感じる」が約8割を占める。

問3 (4) あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じますか？
 ※ここでの家族には、配偶者またはパートナー、ご自身及び配偶者またはパートナーの親、親類などを含み、同居しているか否かは問いません。

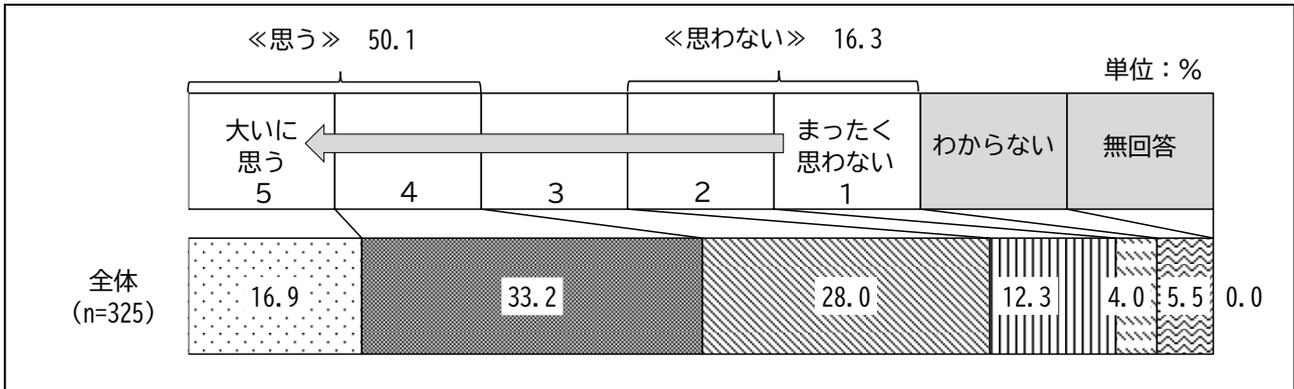


あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力があると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は78.4%と約8割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の8.6%を上回る。

(5) 子育て・教育環境の充実

■ 「思う」が約5割を占める。

問3 (5) お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設など（提供しているのが、民間か行政かを問わず）が充実していると思いますか？

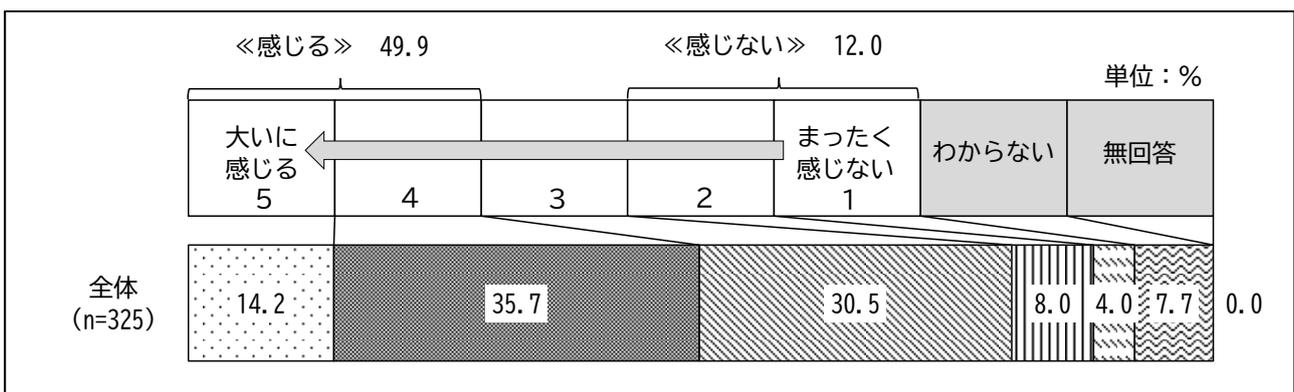


お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「思う」は 50.1%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「思わない」の 16.3%を上回る。

(6) 地域の子育てへの理解・協力

■ 「感じる」が約5割を占める。

問3 (6) お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じますか？



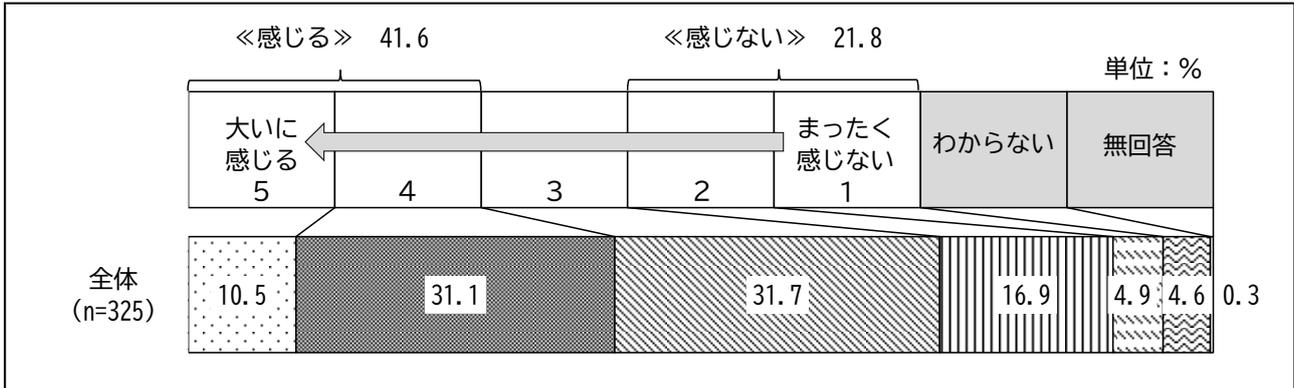
お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協力する雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は 49.9%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の 12.0%を上回る。

(7) 望む子育てができる環境の充実

■ 「感じる」が約4割を占める。

問3 (7) 自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？

※ここでの環境には、子育てに関する家族や地域、会社のサポート、社会制度などを含みます。

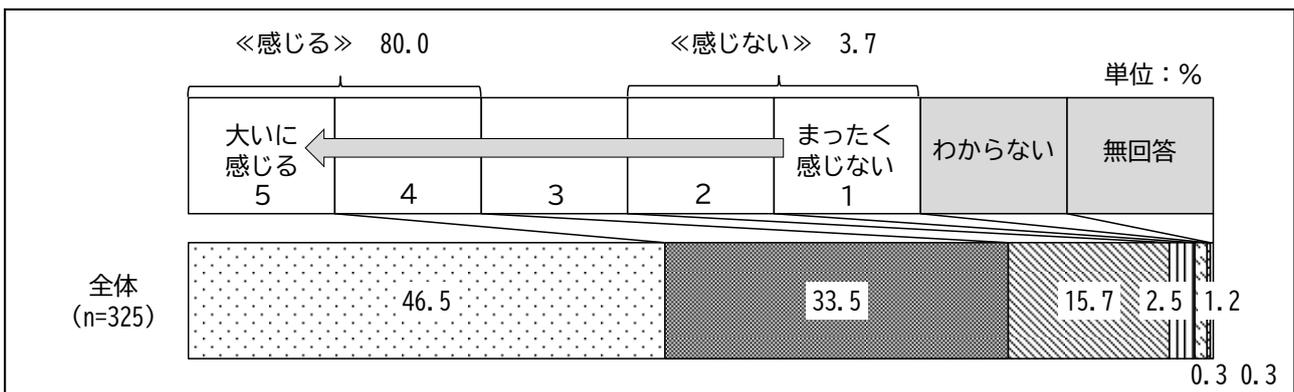


自分が望む子育てができるような環境があると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は41.6%と約4割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の21.8%を上回る。

(8) 子どもの成長の実感

■ 「感じる」が約8割を占める。

問3 (8) お子さんが健やかに成長していると感じますか？

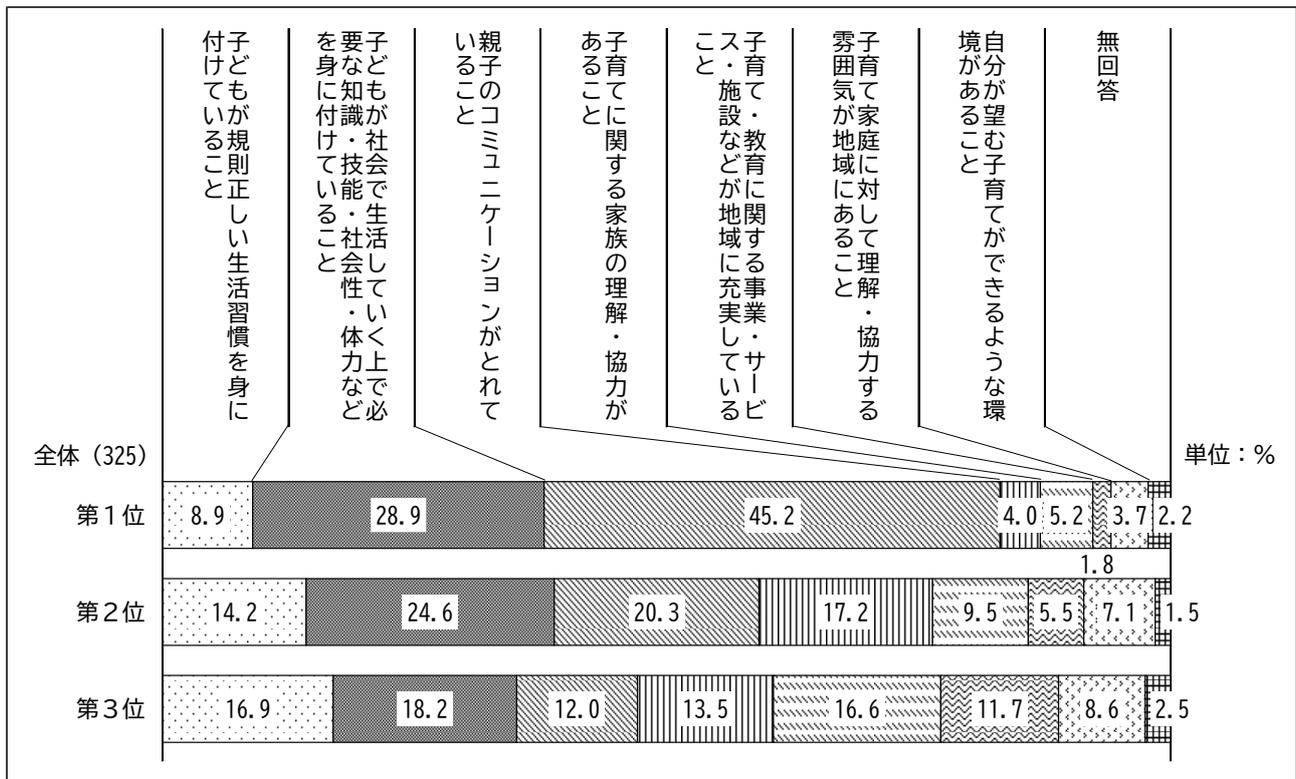


お子さんが健やかに成長していると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は80.0%と約8割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の3.7%を上回る。

(9) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「親子のコミュニケーションがとれていること」が4割台半ば。
- ≪第2位≫ 「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が2割台半ば。
- ≪第3位≫ 「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が約2割。

問4 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



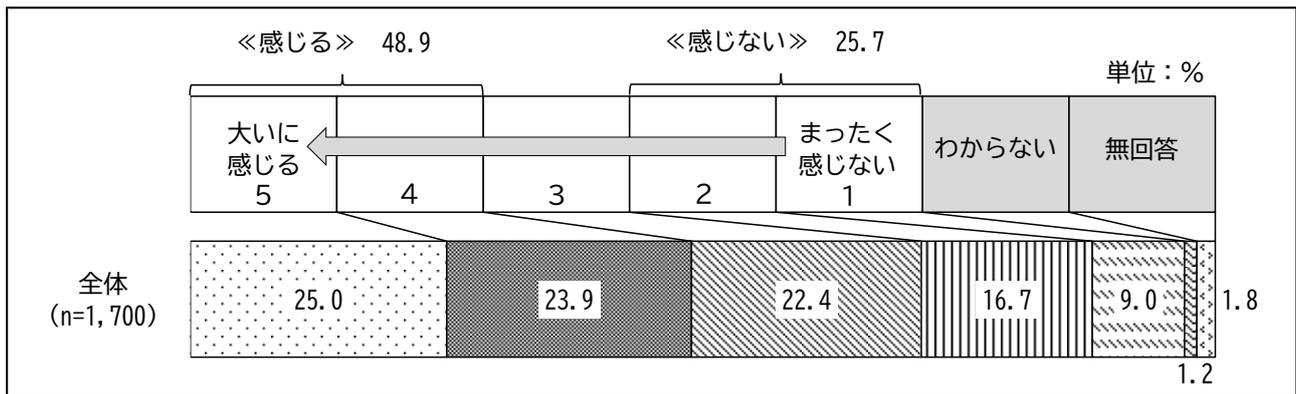
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「親子のコミュニケーションがとれていること」が45.2%で最も高く、次いで「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が28.9%で続く。また、第2位として選択した項目は「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が24.6%で最も高く、第3位として選択した項目は「子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること」が18.2%で最も高い結果となった。

3. 産業

(1) 生活の安定

■ 「感じる」が約5割を占める。

問5 (1) 生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？

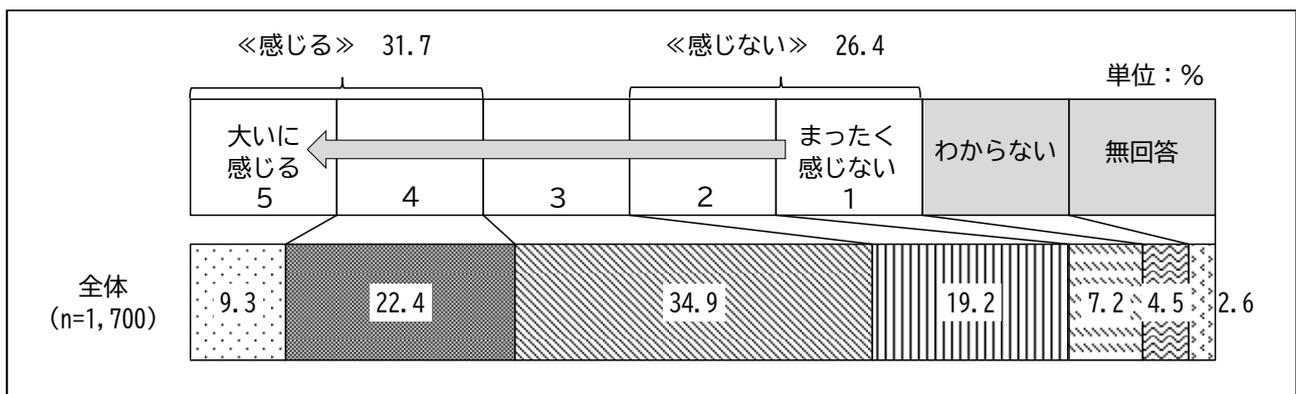


生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は48.9%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の25.7%を上回る。

(2) ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)

■ 「感じる」が約3割を占める。

問5 (2) 仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？
※専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。

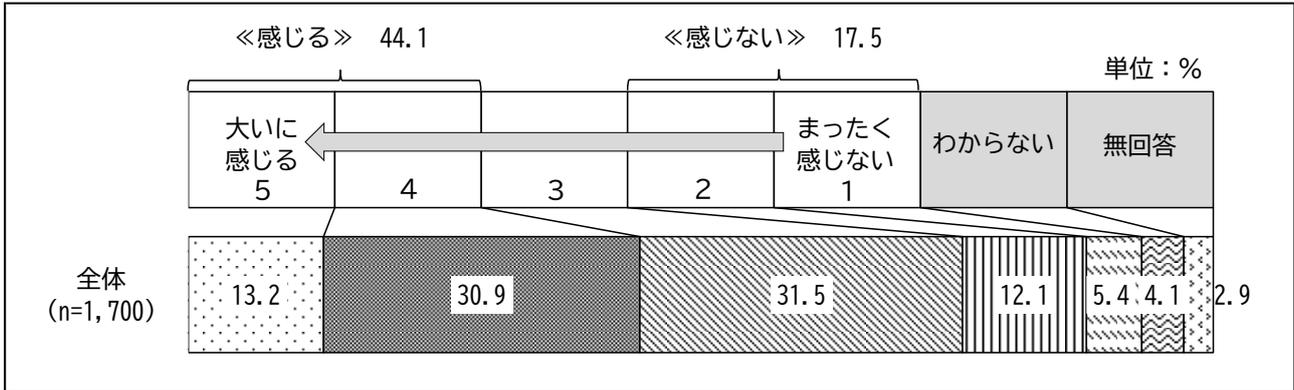


仕事と生活とのバランスが取れていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は31.7%と約3割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の26.4%を上回る。

(3) 仕事のやりがい

■ 「感じる」が4割台半ばを占める。

問5 (3) 仕事に、やりがいや充実感を感じますか？
 ※専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。

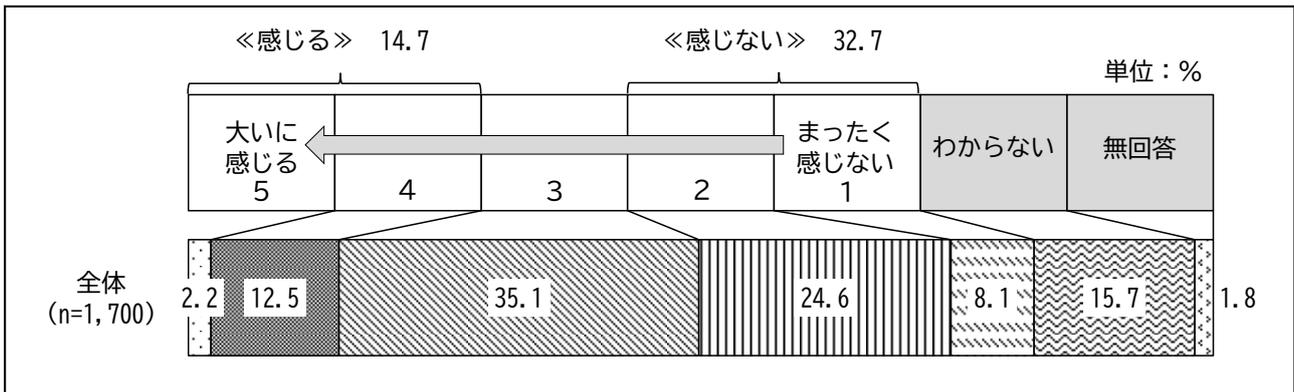


仕事に、やりがいや充実感を感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は44.1%と4割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の17.5%を上回る。

(4) まちの産業

■ 「感じない」が約3割を占める。

問5 (4) 荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？

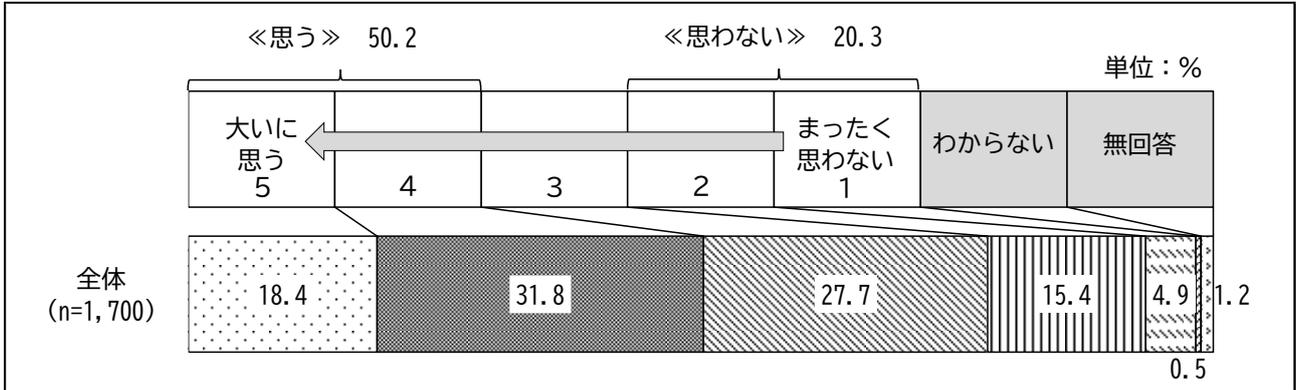


荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は32.7%と約3割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の14.7%を上回る。

(5) 買い物の利便性

■ 「思う」が約5割を占める。

問5 (5) お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？

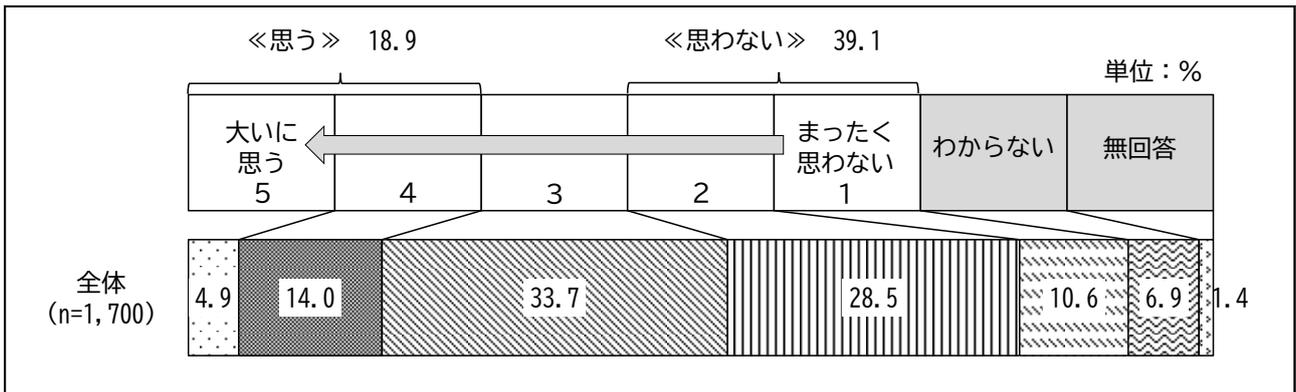


お住まいの地域での買い物が便利だと思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「思う」は50.2%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた「思わない」の20.3%を上回る。

(6) まちの魅力

■ 「思わない」が約4割を占める。

問5 (6) 荒川区は、区外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちだと思いますか？

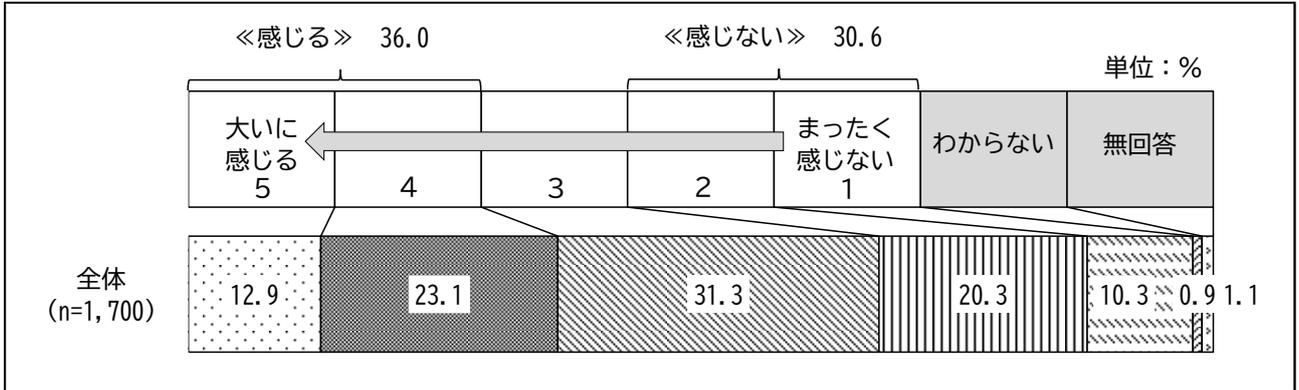


荒川区は、区外から人が訪れたいくなる魅力のあるまちだと思うか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「思わない」は39.1%と約4割を占め、「5」と「4」を合わせた「思う」の18.9%を上回る。

(7) 生活のゆとり

■ 「感じる」が3割台半ばを占める。

問5 (7) 経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？

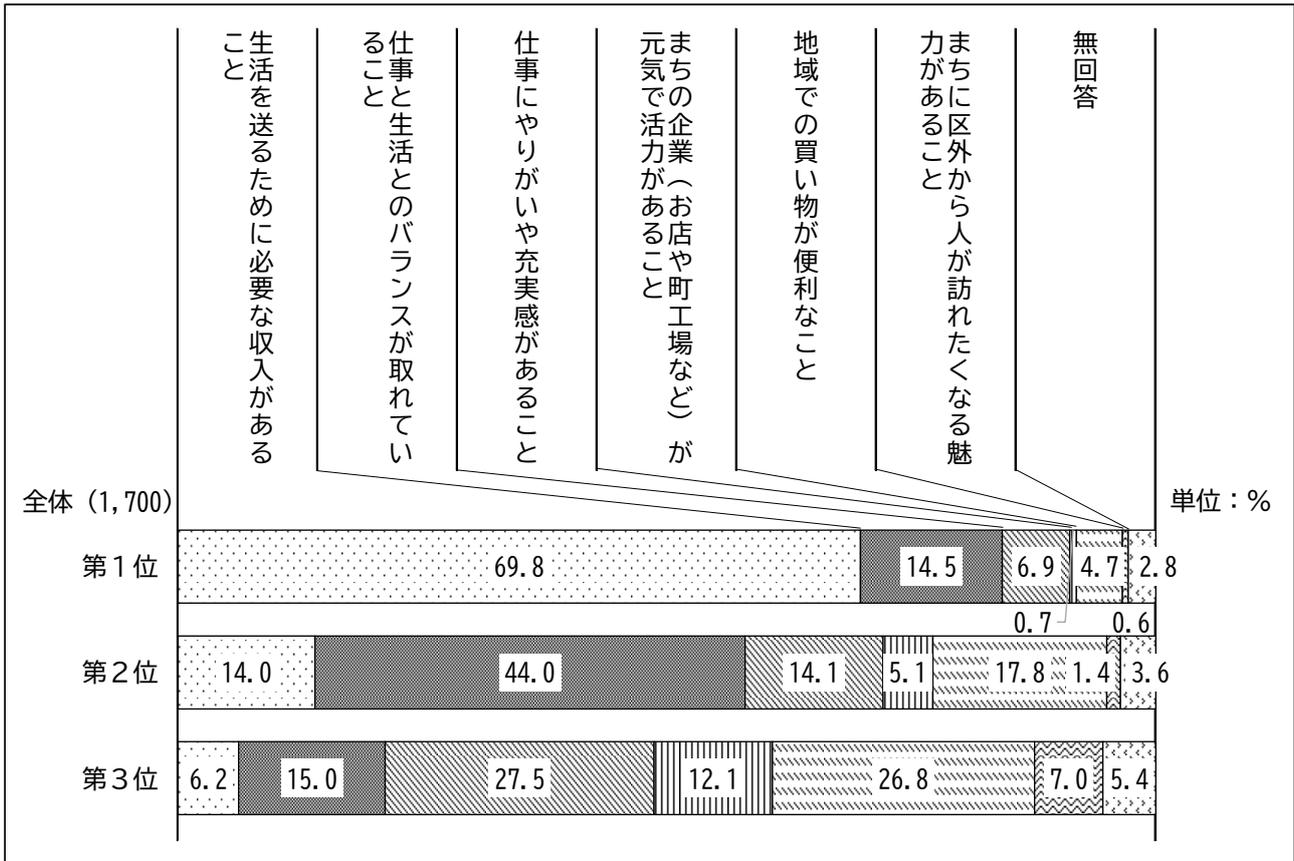


経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は36.0%と3割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じる」の30.6%を上回る。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「生活を送るために必要な収入があること」が約7割。
- ≪第2位≫ 「仕事と生活とのバランスが取れていること」が4割台半ば。
- ≪第3位≫ 「仕事にやりがいや充実感があること」が約3割。

問6 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



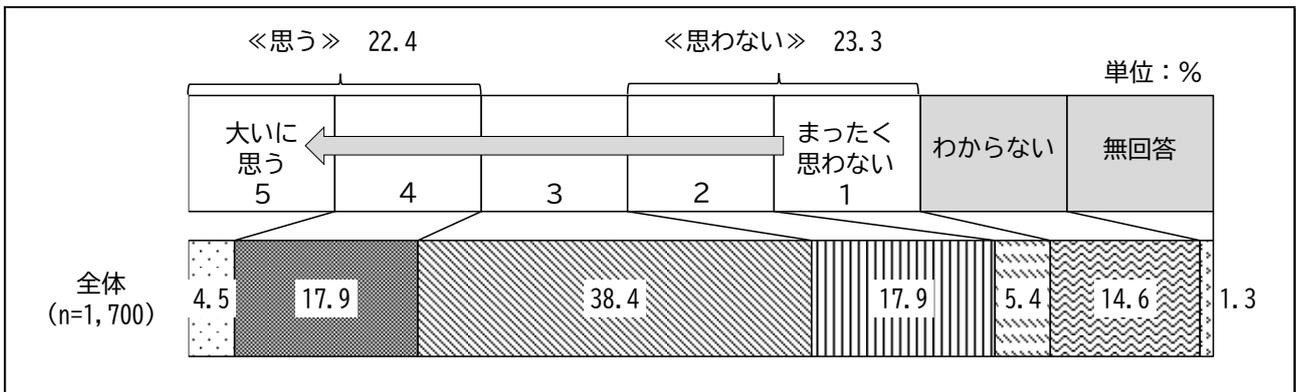
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「生活を送るために必要な収入があること」が69.8%で最も高く、次いで「仕事と生活とのバランスが取れていること」が14.5%で続く。また、第2位として選択した項目は「仕事と生活とのバランスが取れていること」が44.0%で最も高く、第3位として選択した項目は「仕事にやりがいや充実感があること」が27.5%で最も高い結果となった。

4. 環境

(1) 施設のバリアフリー

■ 「思わない」が約2割を占める。

問7 (1) お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？
 ※バリアフリーとは、障がい者や高齢者が生活をする上で支障がないよう、建物の段差等を解消することを指します。

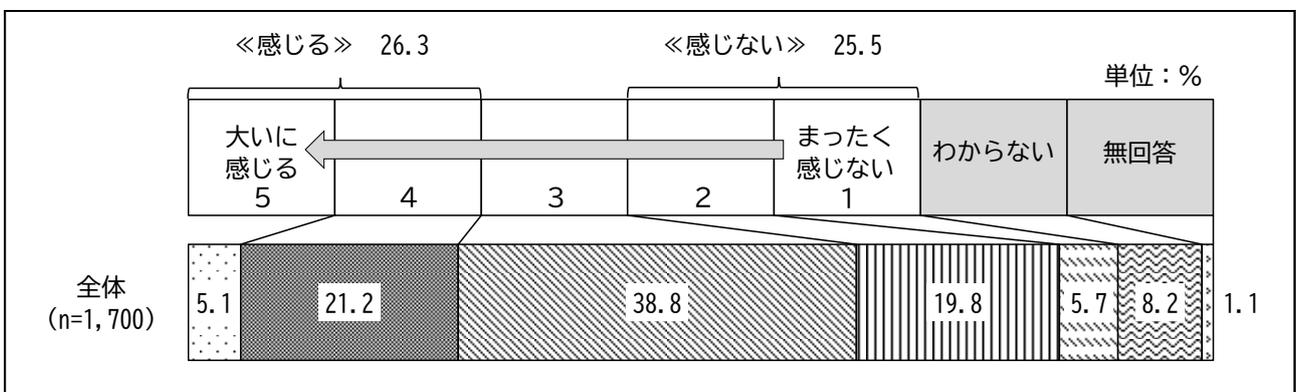


お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思うか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「思わない」は 23.3%と約2割を占め、「5」と「4」を合わせた「思う」の 22.4%とほぼ同様の回答率となっている。

(2) 心のバリアフリー

■ 「感じる」が2割台半ばを占める。

問7 (2) お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？

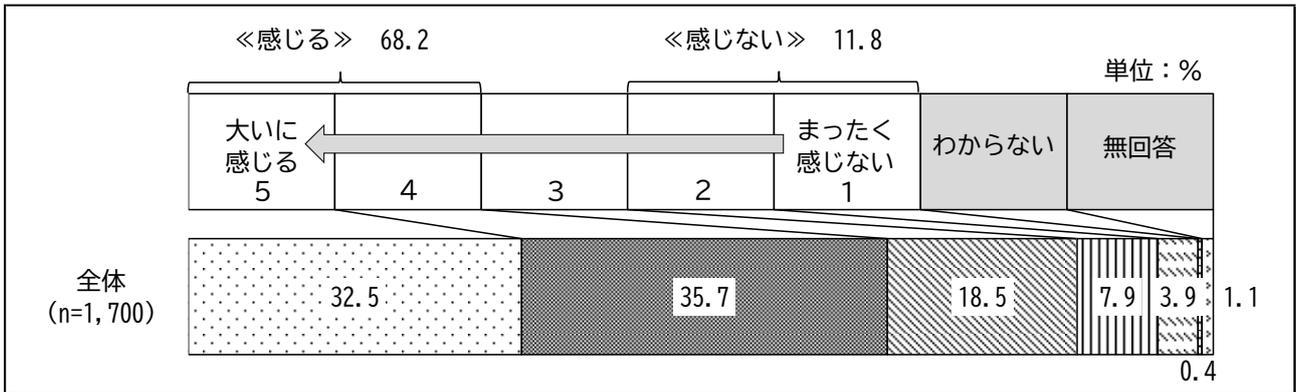


お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は 26.3%と2割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の 25.5%とほぼ同様の回答率となっている。

(3) 交通利便性

■ 「感じる」が約7割を占める。

問7 (3) お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？
 ※ここでの交通には、交通機関、自転車、自動車や徒歩での移動などを含みます。

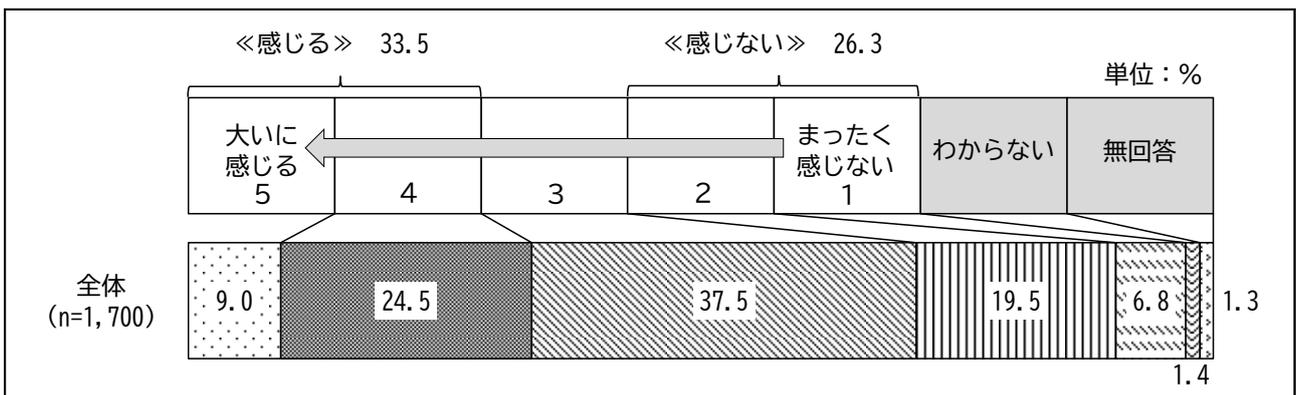


お住まいの地域は交通の便が良いと感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は68.2%と約7割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の11.8%を上回る。

(4) まちなみの良さ

■ 「感じる」が3割台半ばを占める。

問7 (4) お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？



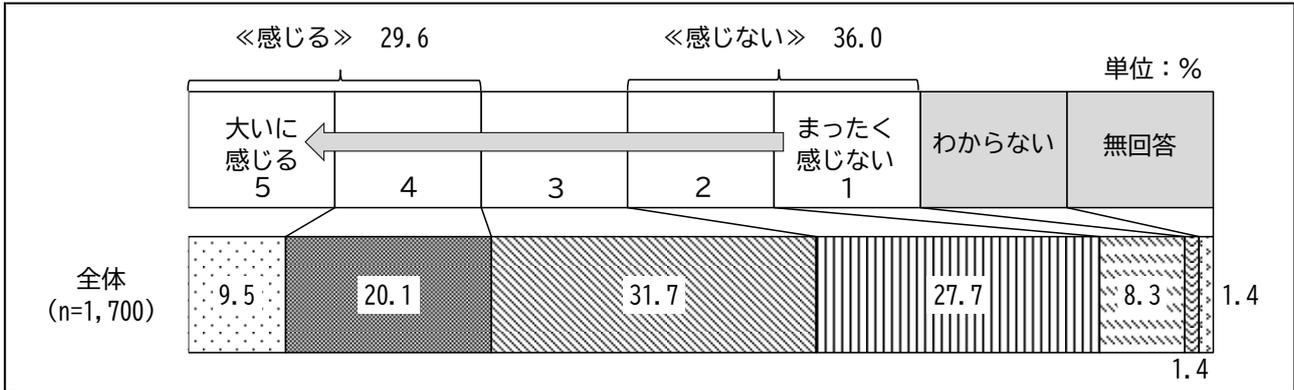
お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は33.5%と3割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の26.3%を上回る。

(5) 周辺環境の快適さ

■ 「感じない」が3割台半ばを占める。

問7 (5) お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？

※ここでの不快さには、放置自転車、ポイ捨てなどを含みます。

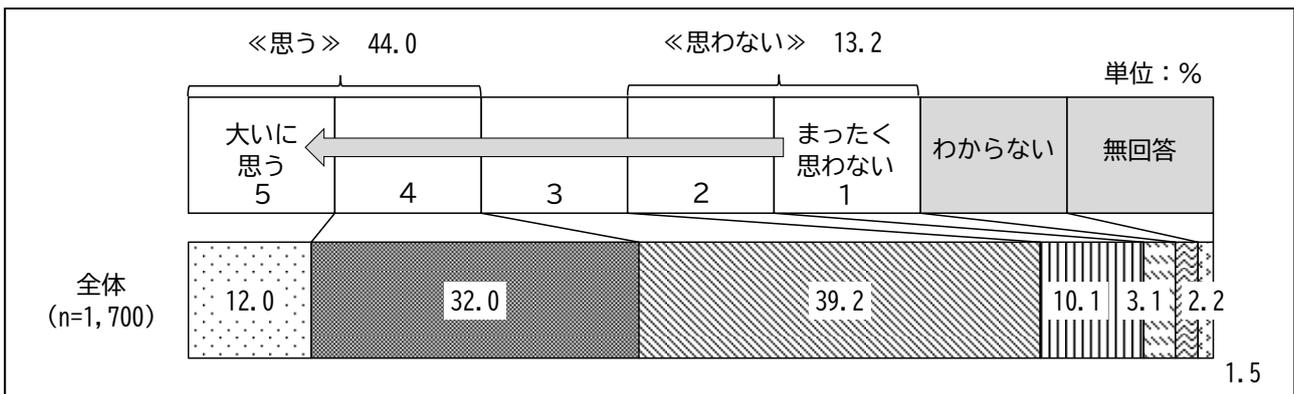


お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は36.0%と3割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の29.6%を上回る。

(6) 持続可能性

■ 「思う」が4割台半ばを占める。

問7 (6) あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？

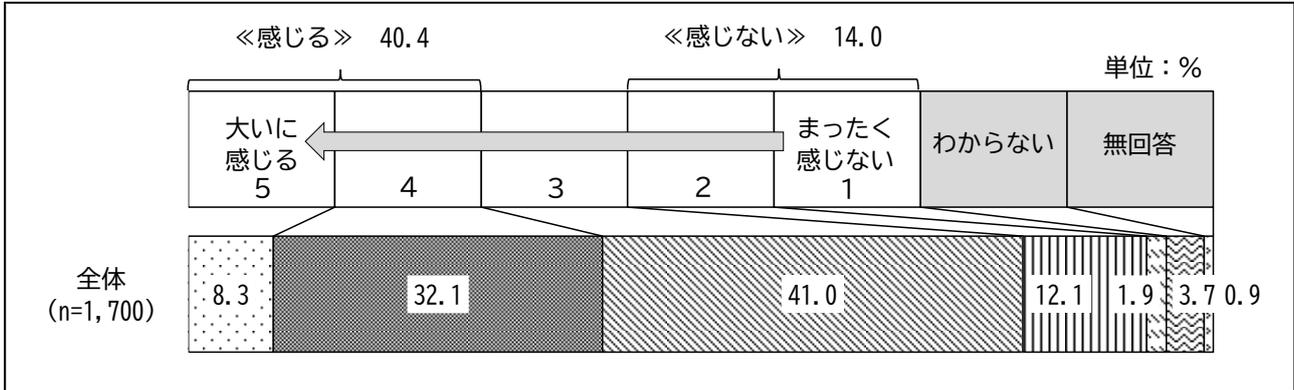


あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思うか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「思う」は44.0%と4割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「思わない」の13.2%を上回る。

(7) 生活環境の充実

■ 「感じる」が約4割を占める。

問7 (7) お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？

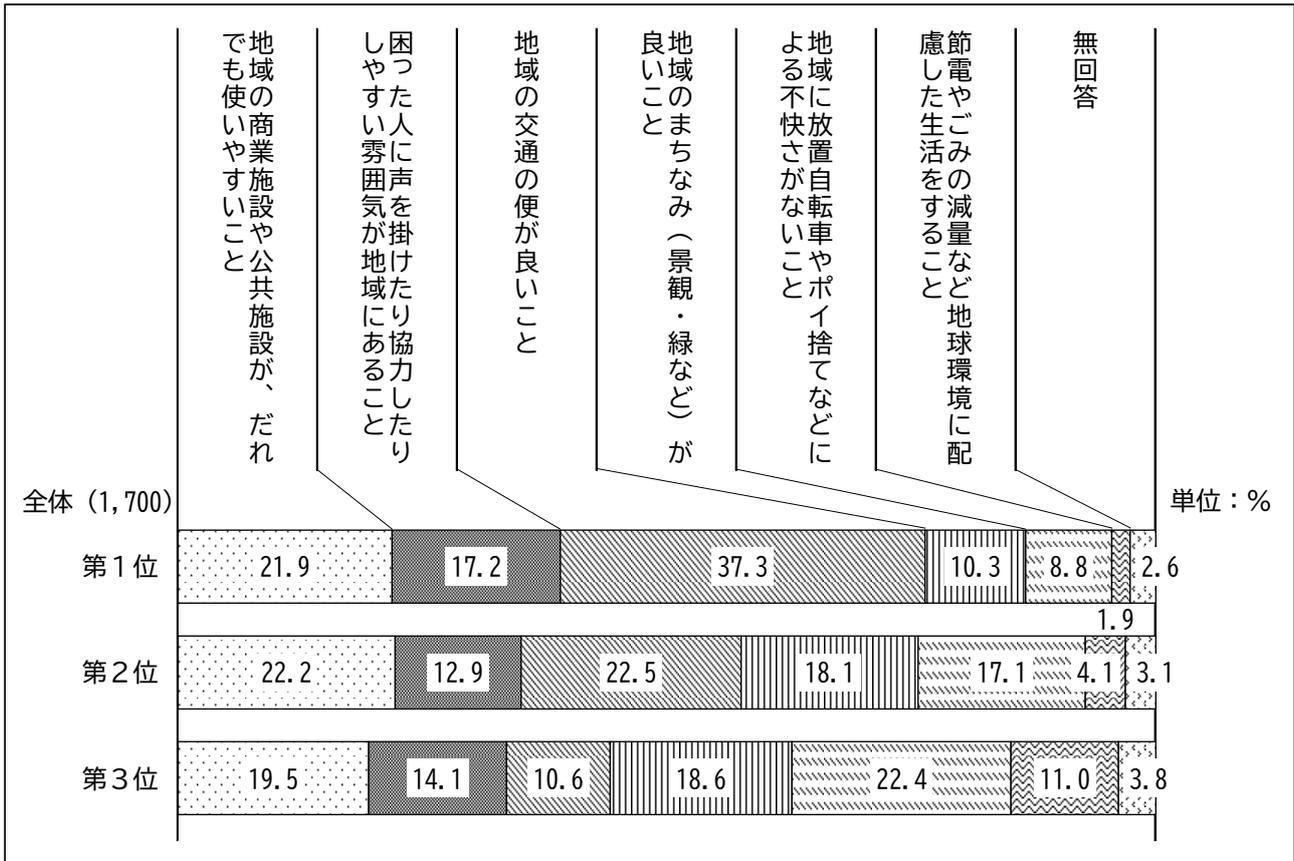


お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は40.4%と約4割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の14.0%を上回る。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「地域の交通の便が良いこと」が約4割。
- ≪第2位≫ 「地域の交通の便が良いこと」が約2割。
- ≪第3位≫ 「地域に放置自転車やポイ捨てなどによる不快さが無いこと」が約2割。

問8 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



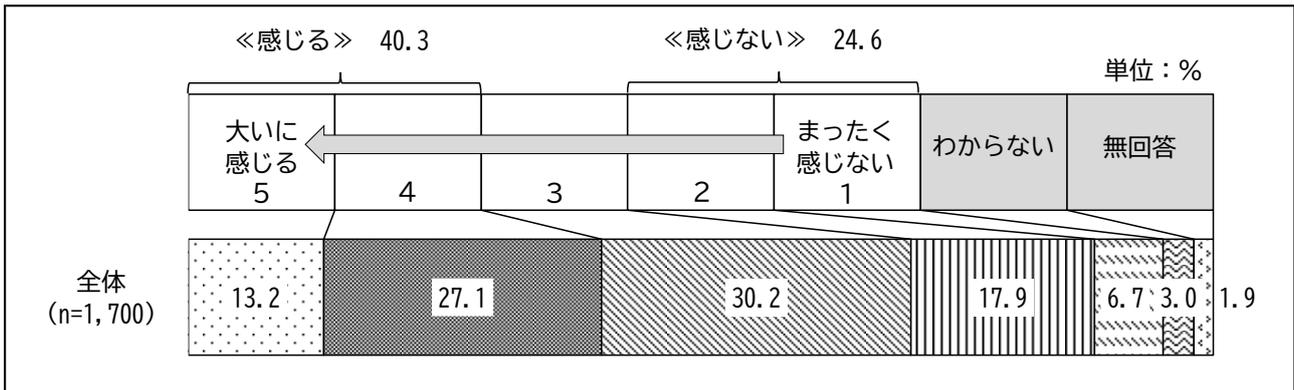
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「地域の交通の便が良いこと」が37.3%で最も高く、次いで「地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと」が21.9%で続く。また、第2位として選択した項目は「地域の交通の便が良いこと」が22.5%で最も高く、第3位として選択した項目は「地域に放置自転車やポイ捨てなどによる不快さが無いこと」が22.4%で最も高い結果となった。

5. 文化

(1) 興味・関心事への取組

■ 「感じる」が約4割を占める。

問9 (1) 興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？



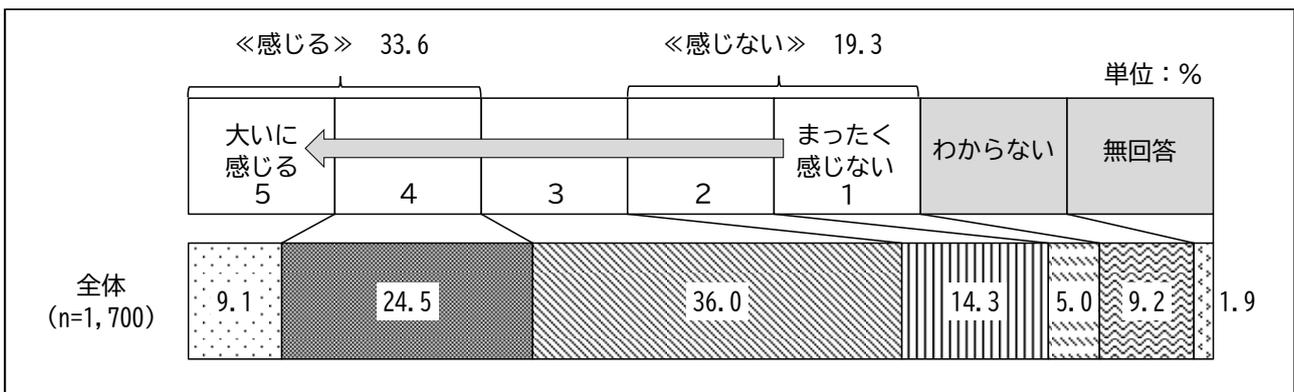
興味・関心のあることに取り組むことができていると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は40.3%と約4割を占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の24.6%を上回る。

(2) 生涯学習環境の充実

■ 「感じる」が3割台半ばを占める。

問9 (2) 生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？

※生涯にわたって学習できる環境とは、図書館や学習施設、スポーツ施設など、だれもが利用できる施設が整備され、学びやスポーツなどができるような環境のことを指します。

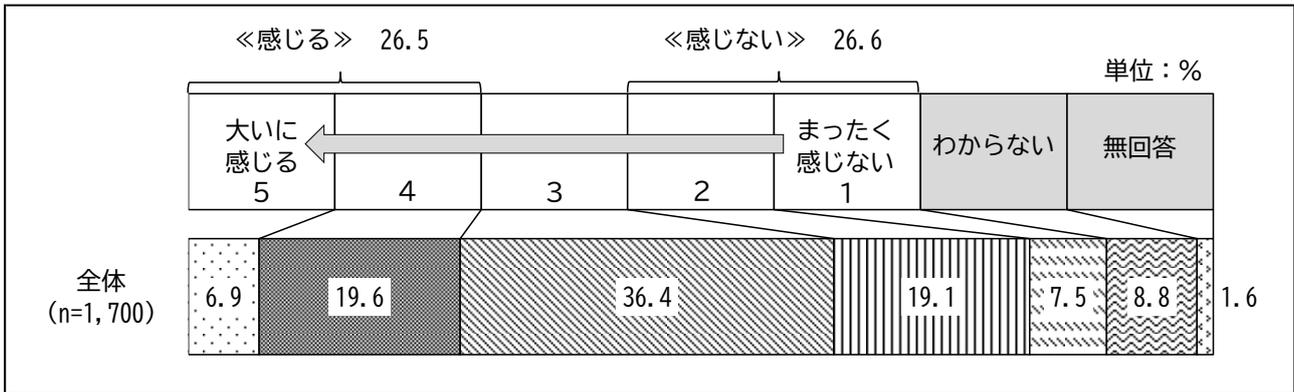


生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は33.6%と3割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の19.3%を上回る。

(3) 地域への愛着

■ 「感じない」が約3割を占める。

問9 (3) 荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？

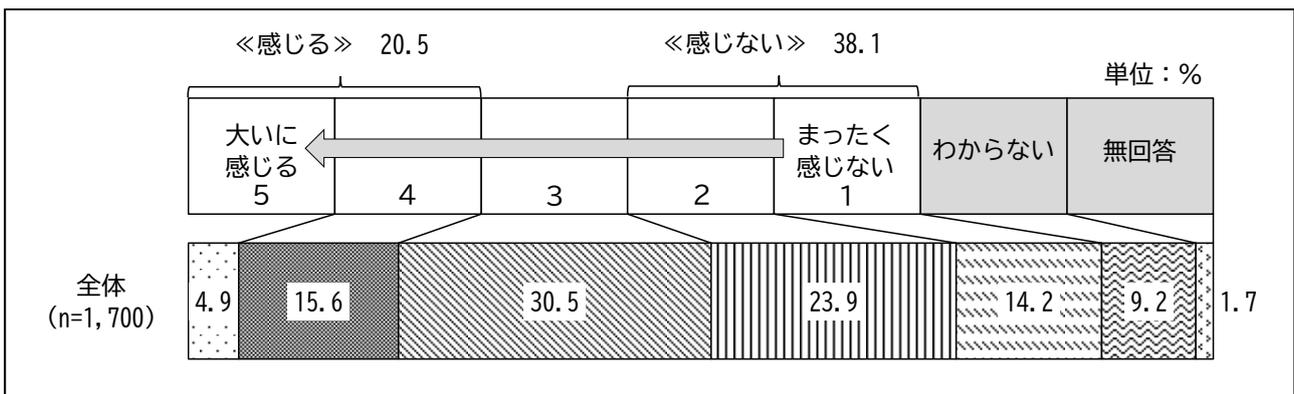


荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は26.6%と約3割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の26.5%とほぼ同様の回答率となっている。

(4) 地域の人との交流の充実

■ 「感じない」が約4割を占める。

問9 (4) お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？

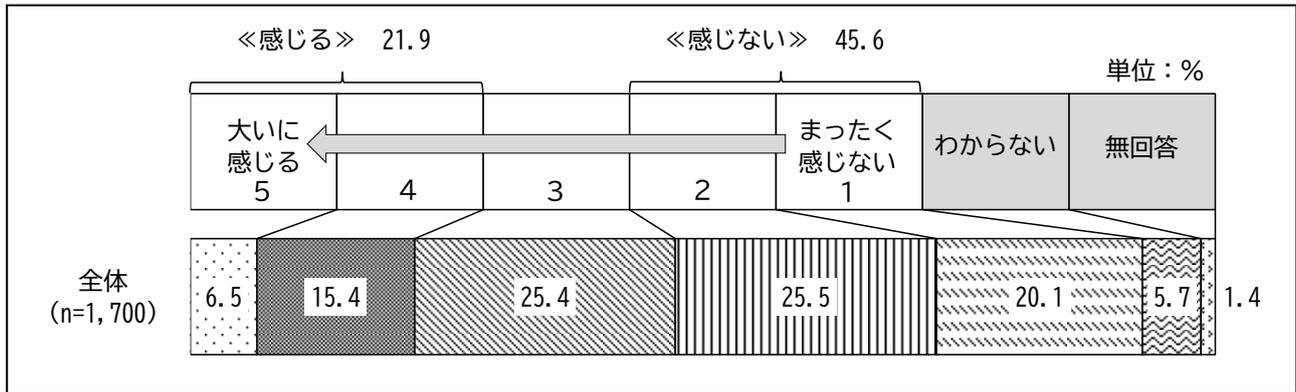


お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は38.1%と約4割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の20.5%を上回る。

(5) 地域に頼れる人がいる実感

■ 「感じない」が4割台半ばを占める。

問9 (5) お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？

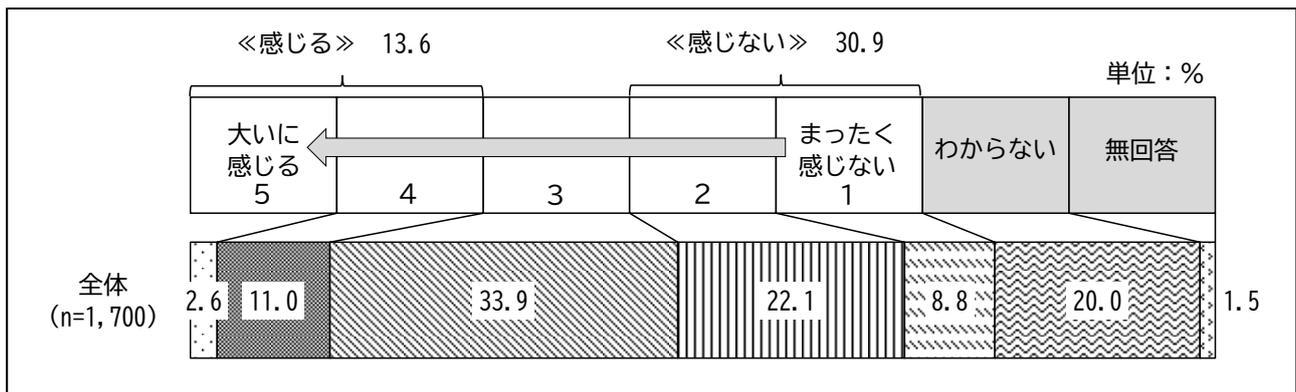


お住まいの地域に頼れる人がいると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は45.6%と4割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の21.9%を上回る。

(6) 文化的寛容性

■ 「感じない」が約3割を占める。

問9 (6) お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？

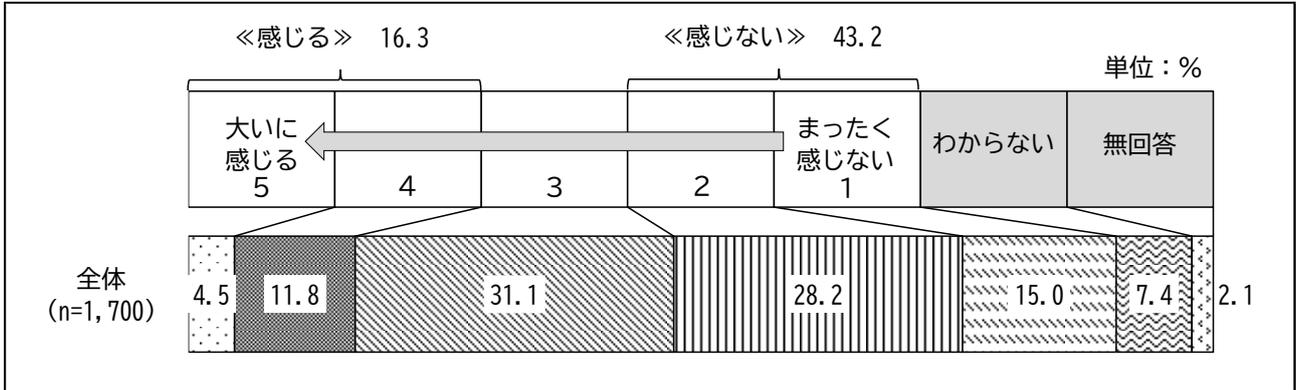


お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は30.9%と約3割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の13.6%を上回る。

(7) 充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感

■ 「感じない」が約4割を占める。

問9 (7) 充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？

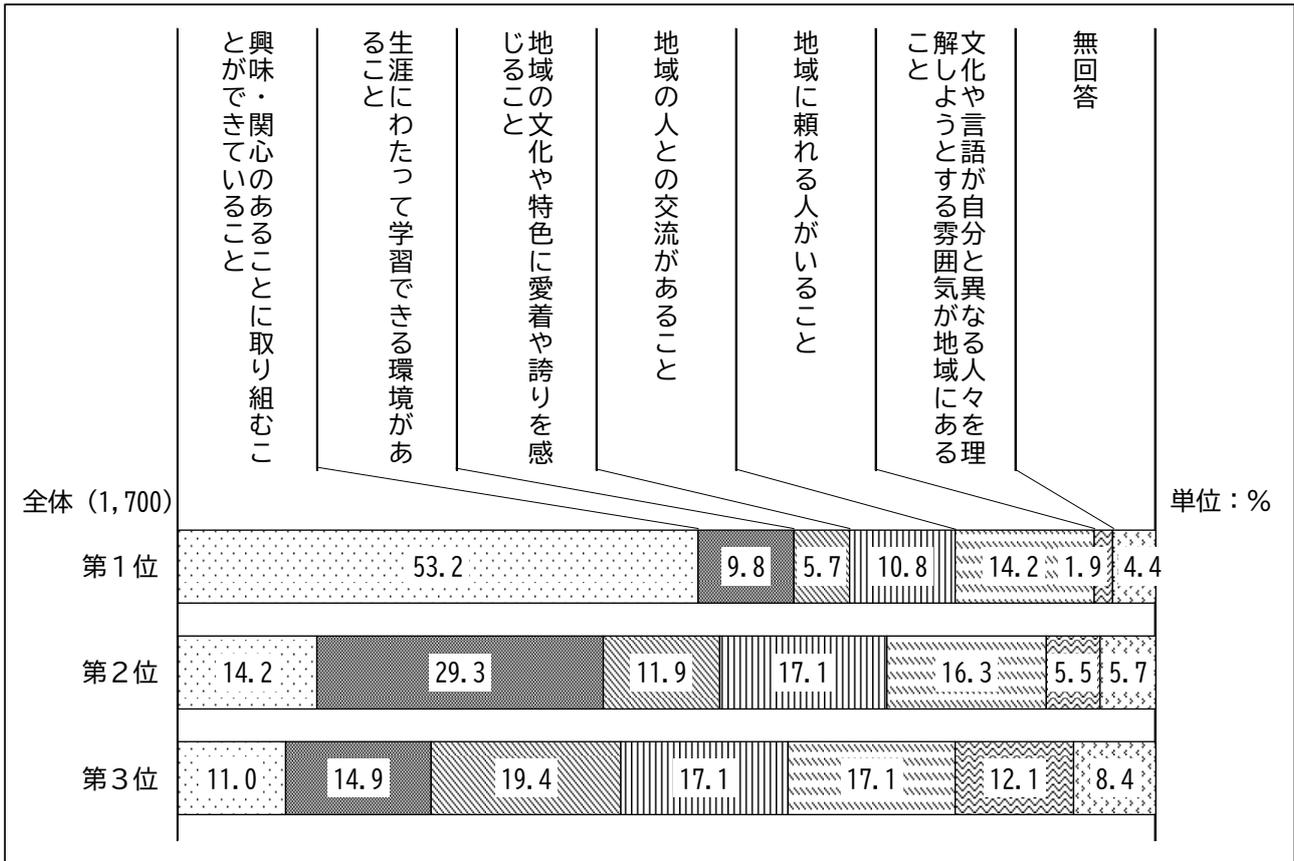


充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は43.2%と約4割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の16.3%を上回る。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「興味・関心のあることに取り組むことができること」が約5割。
- ≪第2位≫ 「生涯にわたって学習できる環境があること」が約3割。
- ≪第3位≫ 「地域の文化や特色に愛着や誇りを感じることに取り組むこと」が約2割。

問10 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



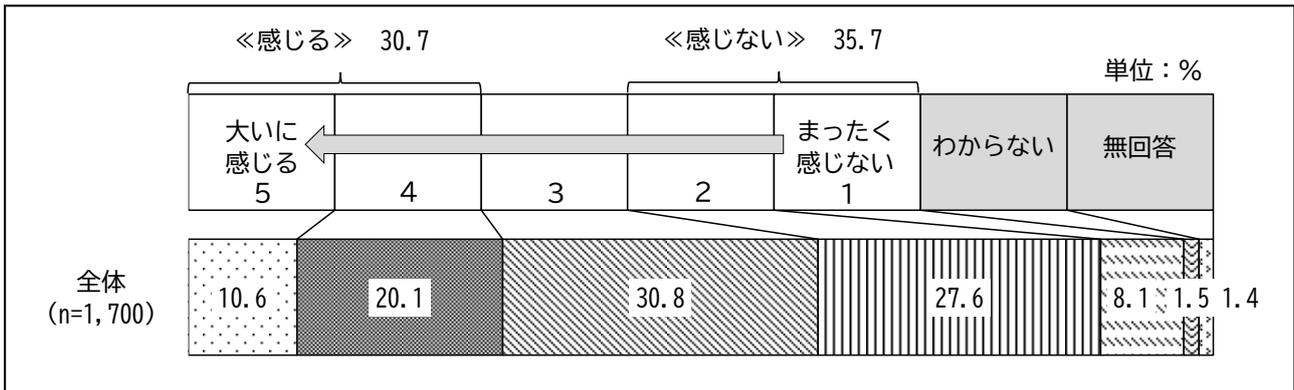
あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「興味・関心のあることに取り組むことができること」が53.2%で最も高く、次いで「地域に頼れる人がいること」が14.2%で続く。また、第2位として選択した項目は「生涯にわたって学習できる環境があること」が29.3%で最も高く、第3位として選択した項目は「地域の文化や特色に愛着や誇りを感じることに取り組むこと」が19.4%で最も高い結果となった。

6. 安全・安心

(1) 防犯性

■ 《感じる》が3割台半ばを占める。

問 11 (1) お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？

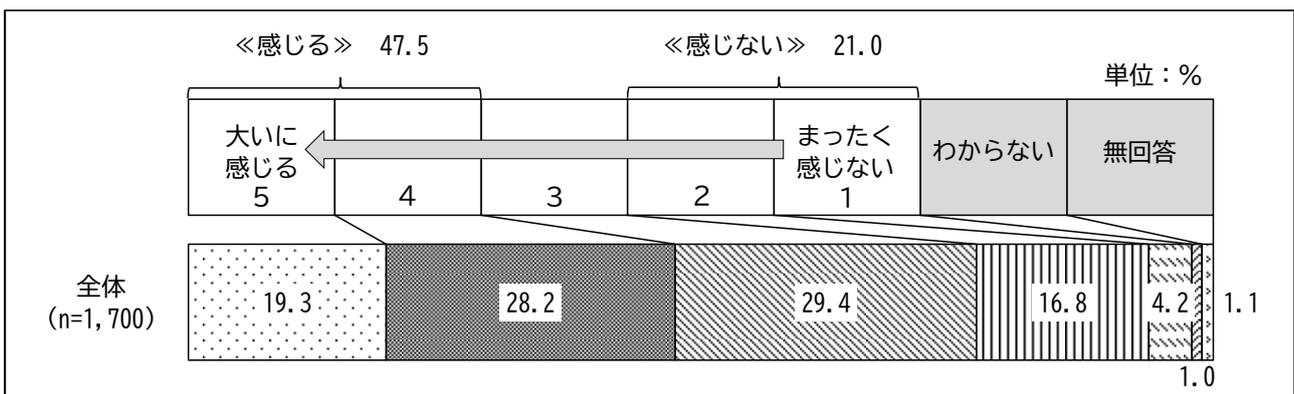


お住まいの地域で、犯罪への不安を感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた《感じない》は35.7%と3割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた《感じる》の30.7%を上回る。

(2) 交通安全性

■ 《感じる》が約5割を占める。

問 11 (2) お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？

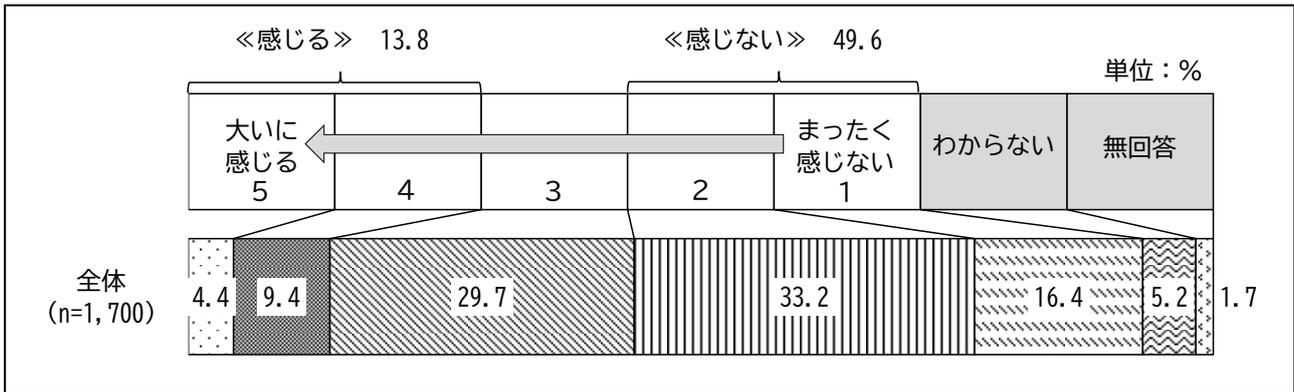


お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた《感じる》は47.5%と約5割を占め、「1」と「2」を合わせた《感じない》の21.0%を上回る。

(3) 生活安全性

■ 「感じない」が約5割を占める。

問 11 (3) 家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？

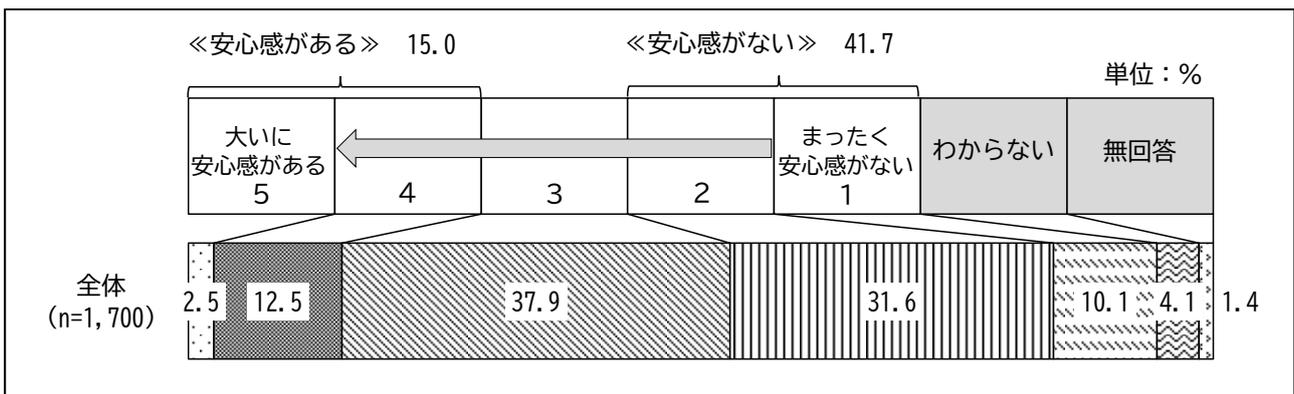


家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は49.6%と約5割を占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の13.8%を上回る。

(4) 個人の備え

■ 「安心感がない」が約4割を占める。

問 11 (4) 災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感がありますか？

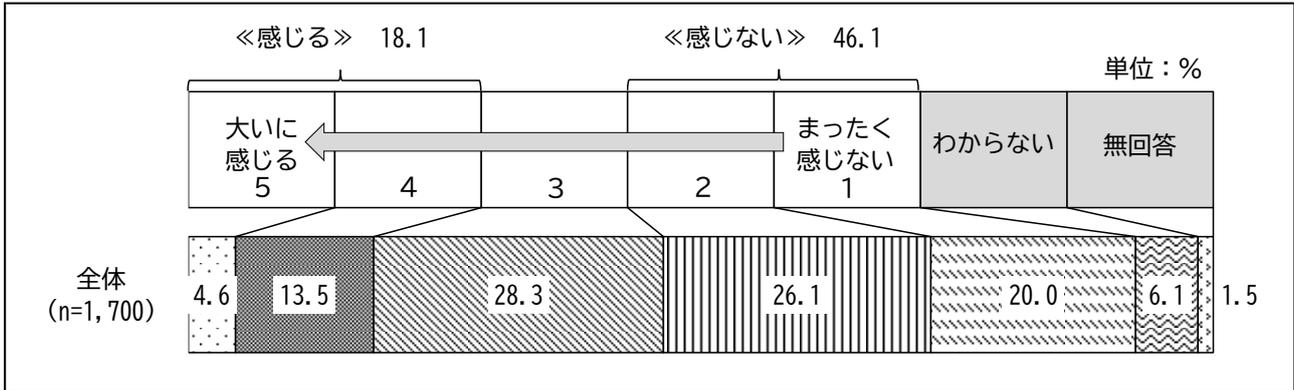


災害（地震・火災・風水害）に対する備えを十分にしている安心感があるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「安心感がない」は41.7%と約4割を占め、「5」と「4」を合わせた「安心感がある」の15.0%を上回る。

(5) 災害時の絆・助け合い

■ 「感じない」が4割台半ばを占める。

問 11 (5) 災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？

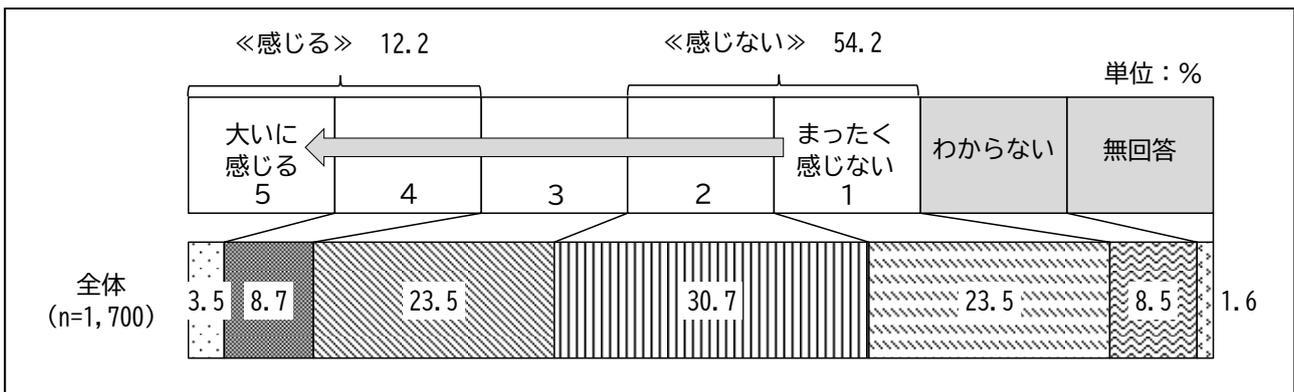


災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は46.1%と4割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の18.1%を上回る。

(6) 防災性

■ 「感じない」が5割台半ばを占める。

問 11 (6) お住まいの地域は災害に強いと感じますか？

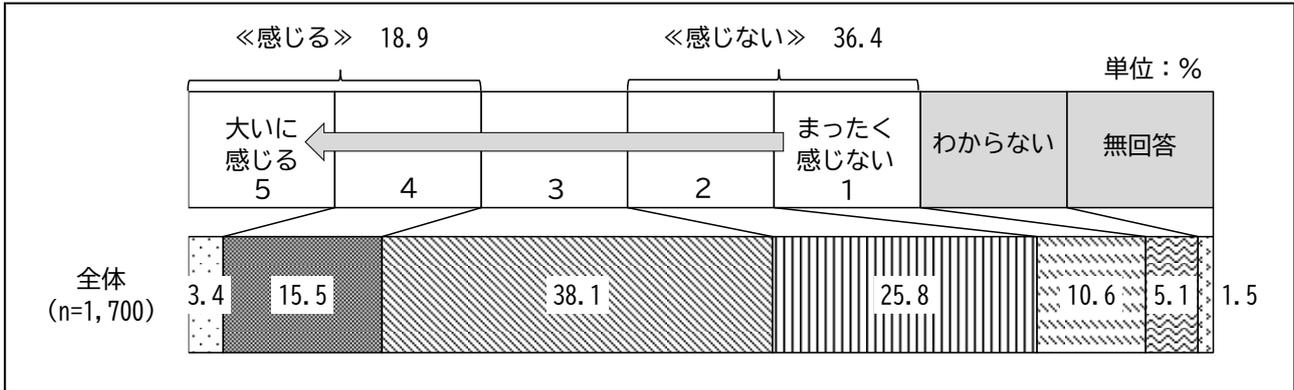


お住まいの地域は災害に強いと感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は54.2%と5割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の12.2%を上回る。

(7) 安全・安心の実感

■ 「感じない」が3割台半ばを占める。

問 11 (7) お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？

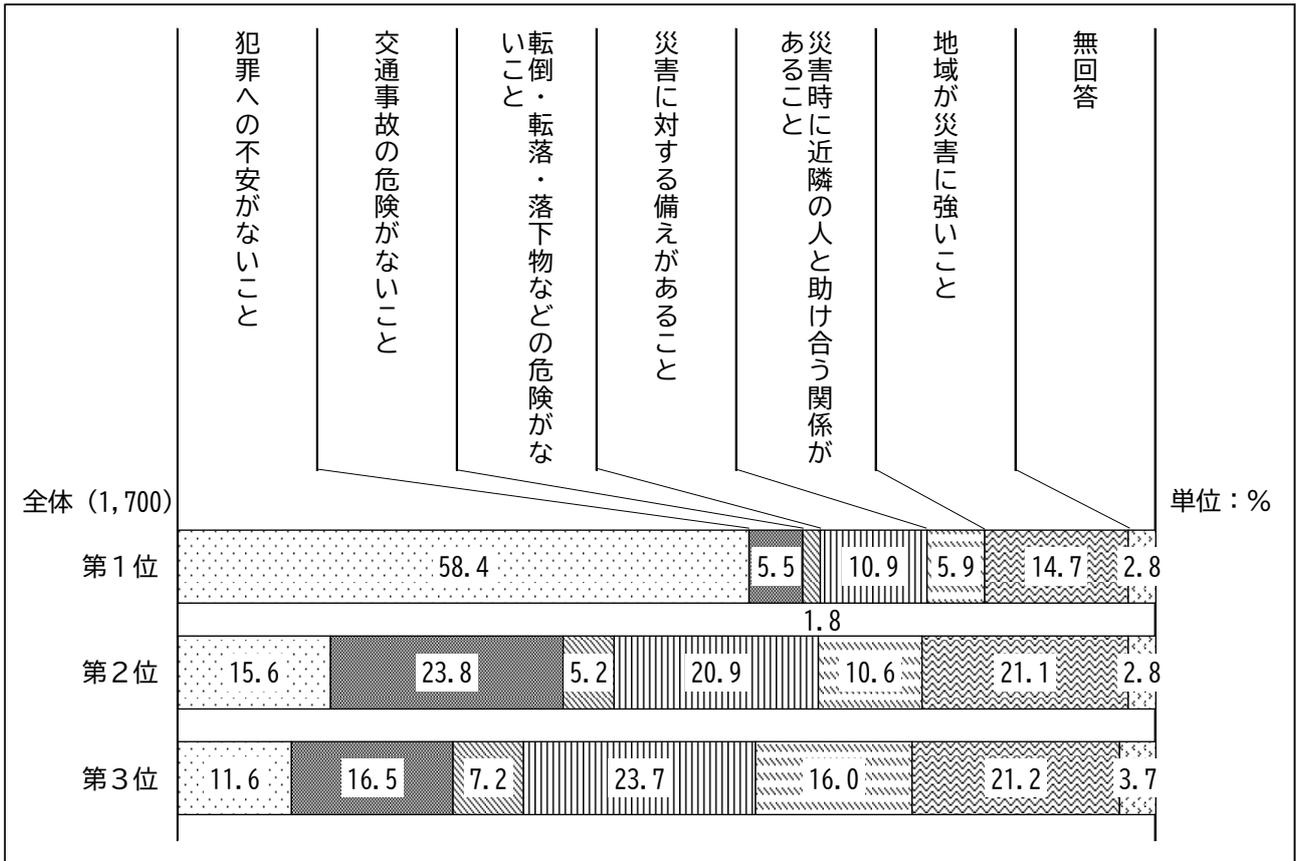


お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じるか尋ねたところ、「1」と「2」を合わせた「感じない」は 36.4%と3割台半ばを占め、「5」と「4」を合わせた「感じる」の 18.9%を上回る。

(8) 幸せにとって特に重要だと思うもの

- ≪第1位≫ 「犯罪への不安がないこと」が約6割。
- ≪第2位≫ 「交通事故の危険がないこと」が2割台半ば。
- ≪第3位≫ 「災害に対する備えがあること」が2割台半ば。

問12 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを、第1位から第3位までお選びください。



あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを尋ねたところ、第1位として選択した項目は「犯罪への不安がないこと」が58.4%で最も高く、次いで「地域が災害に強いこと」が14.7%で続く。また、第2位として選択した項目は「交通事故の危険がないこと」が23.8%で最も高く、第3位として選択した項目は「災害に対する備えがあること」が23.7%で最も高い結果となった。

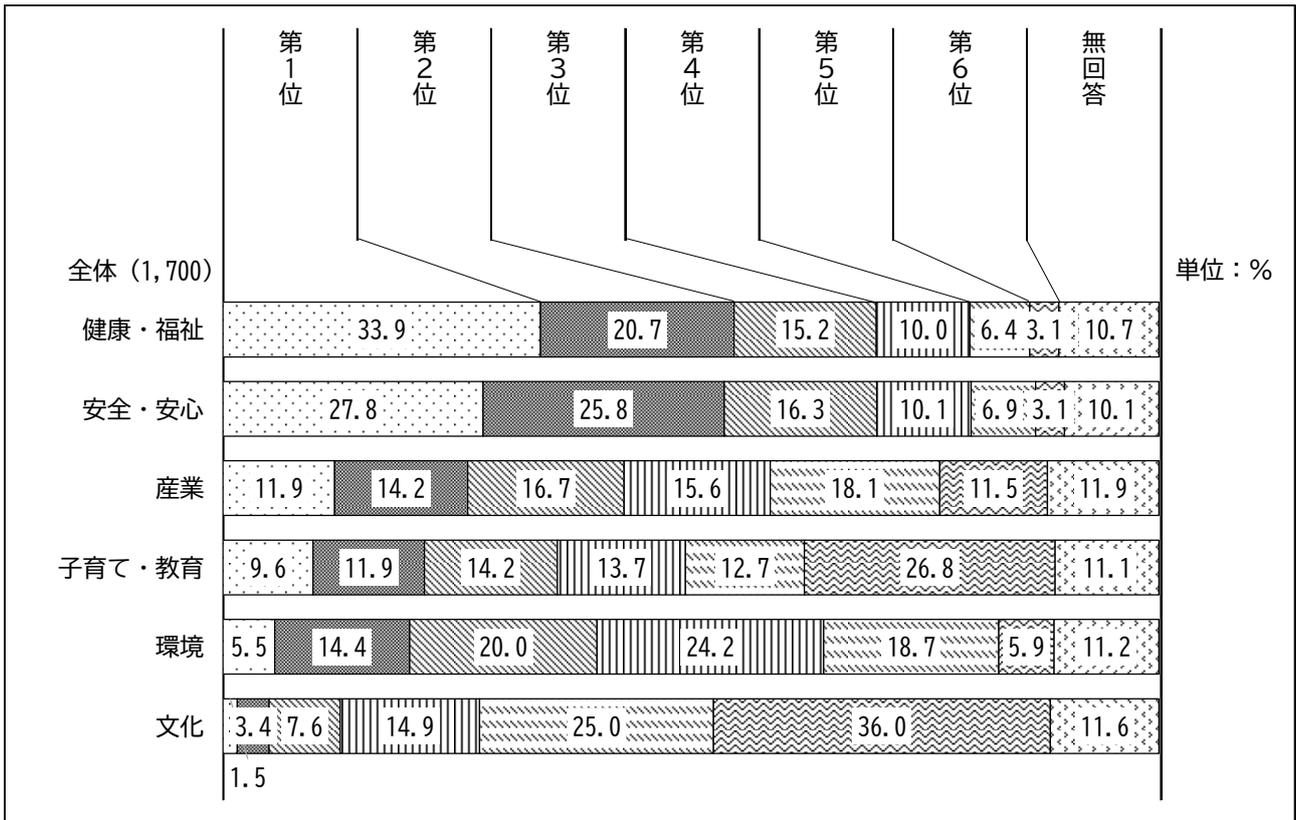
7. 総合

(1) 6つの分野について幸せにとって重要だと思う順位

(健康・福祉、子育て・教育、産業、環境、文化、安全・安心の6分野について)

■ <<第1位>>「健康・福祉」が3割台半ば。

問13 6つの分野について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、記入欄に順位(1~6位)を記入してください。

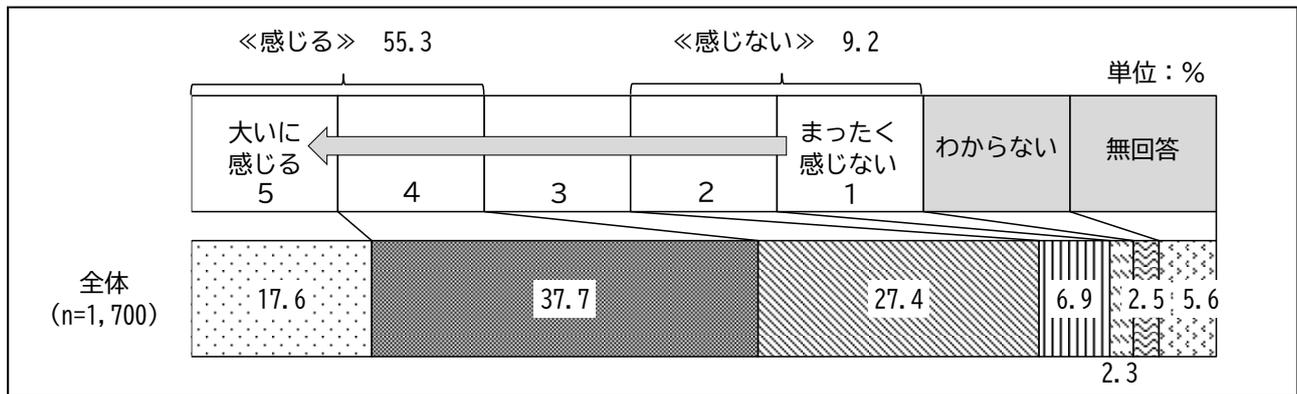


第1位で挙げられた分野で、最も割合が高かったのは「健康・福祉」で33.9%となっている。次いで「安全・安心」(27.8%)が続き、「産業」(11.9%)、「子育て・教育」(9.6%)、「環境」(5.5%)、「文化」(1.5%)の順となっている。

(2) 幸福実感

■ 「感じる」が5割台半ばを占める。

問 14 あなたは、幸せと感じますか？



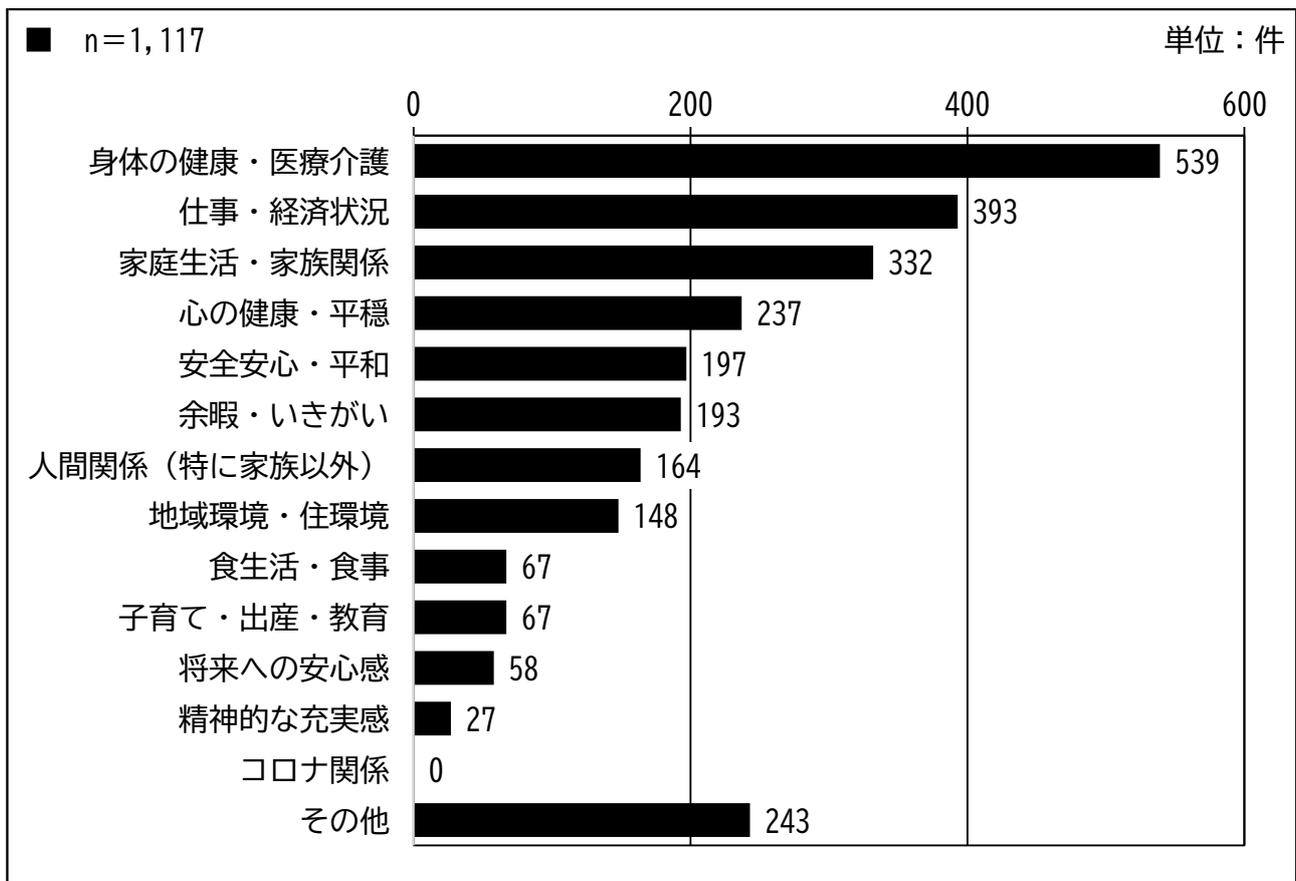
幸せだと感じるか尋ねたところ、「5」と「4」を合わせた「感じる」は55.3%と5割台半ばを占め、「1」と「2」を合わせた「感じない」の9.2%を大きく上回る。

8. 自由記述

(1) 幸せにとって重要だと思うこと

■ 約5割の人が「身体の健康・医療介護」に関する内容を回答。次いで「仕事・経済状況」に関する内容を回答した人は3割台半ば。

問 15 あなたの幸せにとって重要だと思うことは何ですか？



問 15 への回答内容を 14 の分野（その他を含む）に分類して集計を行った。回答内容によっては複数のカテゴリーにあてはまる場合があるため、回答数は 2,665 件（回答者数は 1,117 人）であった。

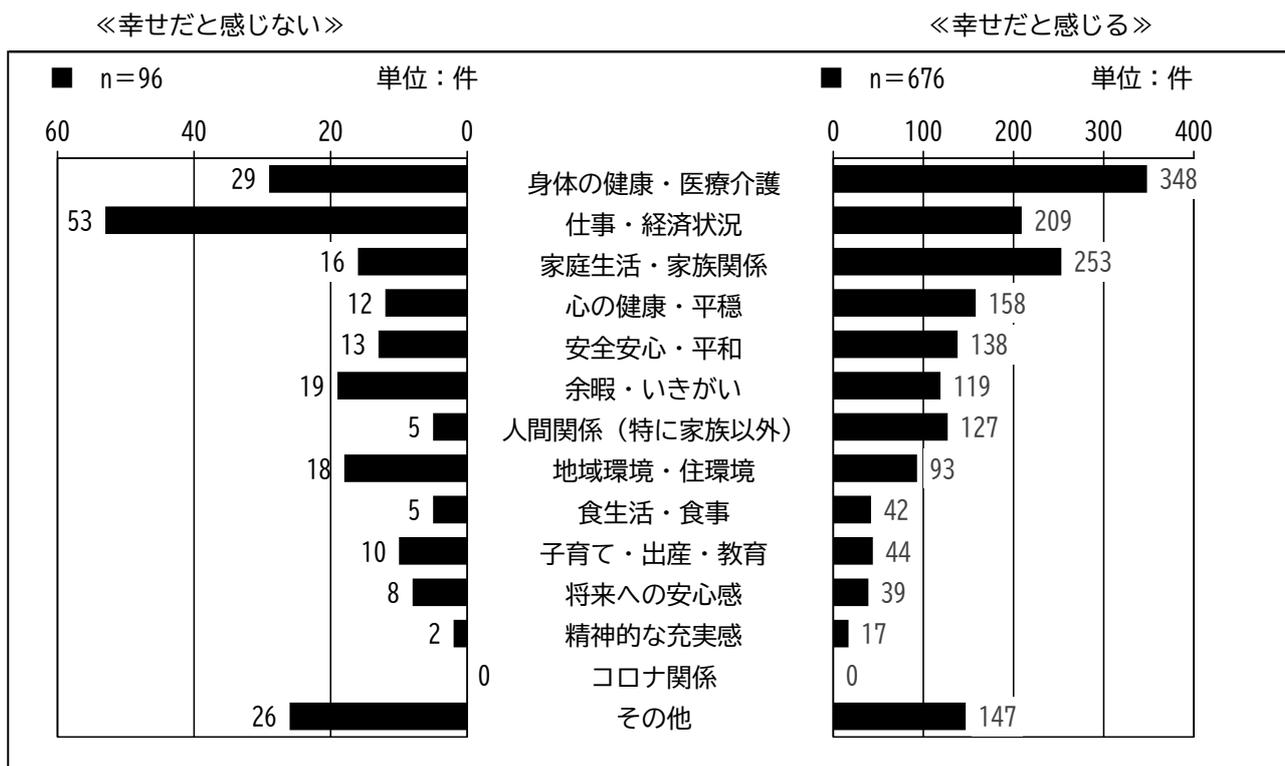
このうち「身体の健康・医療介護」に関する記述は 539 件であり、問 15 を回答した回答者の 48.3% を占めている。次いで、「仕事・経済状況」に関する記述は 393 件（35.2%）、「家庭生活・家族関係」に関する記述は 332 件（29.7%）となっている。

問15「幸せにとって重要だと思うこと」の回答分類を、「幸せだと感じない」（問14で「1」または「2」と回答）と、「幸せだと感じる」（問14で「5」または「4」と回答）に分けて比べる。

「幸せだと感じない」の回答者数は216件（回答者は96人）であった。

「幸せだと感じる」の回答者数は1,734件（回答者は676人）であった。

幸せにとって重要だと思うこと 幸福実感別



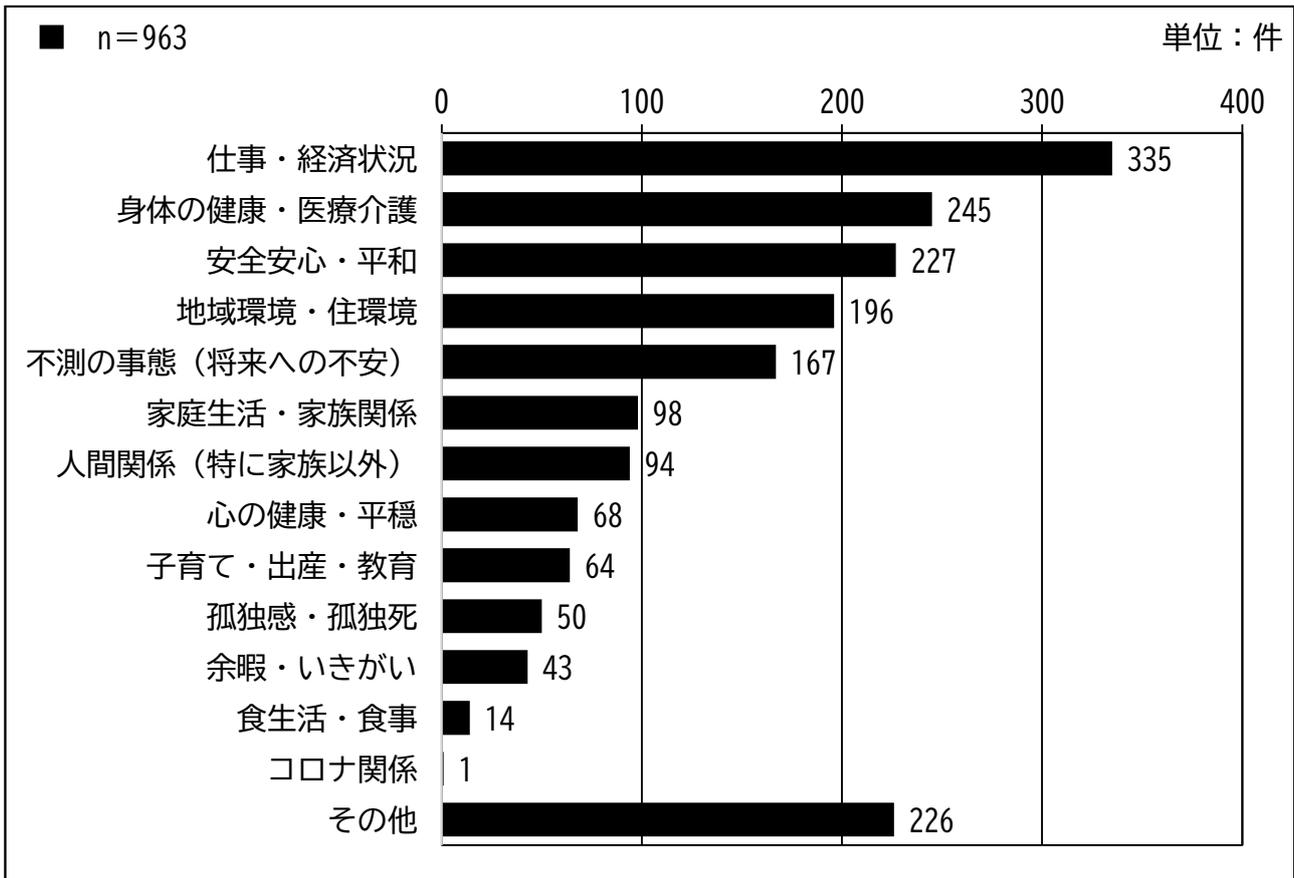
「幸せだと感じない」の回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は53件（55.2%）となっている。次いで「身体の健康・医療介護」に関する記述は29件（30.2%）、「余暇・いきがい」に関する記述は19件（19.8%）となっている。

「幸せだと感じる」の回答者のうち、「身体の健康・医療介護」に関する記述は348件（51.5%）となっている。次いで「家庭生活・家族関係」に関する記述は253件（37.4%）、「仕事・経済状況」に関する記述は209件（30.9%）となっている。

(2) 不幸・不安だと感じること

■ 3割台半ばの人が「仕事・経済状況」に関する内容を回答。次いで「身体の健康・医療介護」に関する内容を回答した人は2割台半ば。

問 16 あなたにとって不幸だと感じることや、生活をしていく上で不安だと感じることは何ですか？



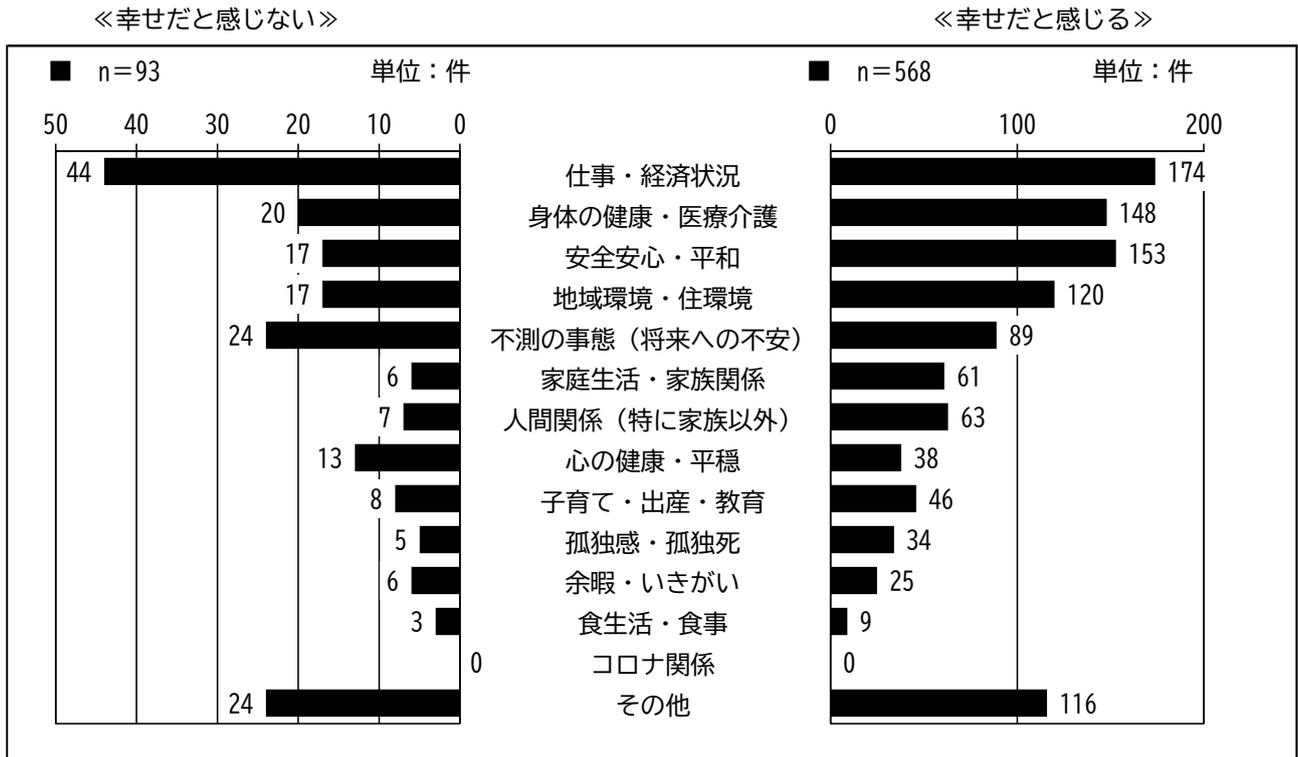
問 16 への回答内容を 14 の分野（その他を含む）に分類して集計を行った。回答内容によっては複数のカテゴリにあてはまる場合があるため、回答数は 1,828 件（回答者数は 963 人）であった。

このうち「仕事・経済状況」に関する記述は 335 件であり、問 16 を回答した回答者の 34.8% を占めている。次いで、「身体の健康・医療介護」に関する記述は 245 件（25.4%）、「安全安心・平和」に関する記述は 227 件（23.6%）となっている。

問16「不幸・不安だと感じる事」の回答分類を、「幸せだと感じない」（問14で「1」または「2」と回答）と、「幸せだと感じる」（問14で「5」または「4」と回答）に分けて比べる。

「幸せだと感じない」の回答者数は194件（回答者は93人）であった。
 「幸せだと感じる」の回答者数は1,076件（回答者は568人）であった。

不幸・不安だと感じる事 幸福実感別



「幸せだと感じない」の回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は44件（47.3%）となっている。次いで「不測の事態（将来への不安）」に関する記述は24件（25.8%）、「身体の健康・医療介護」に関する記述は20件（21.5%）となっている。

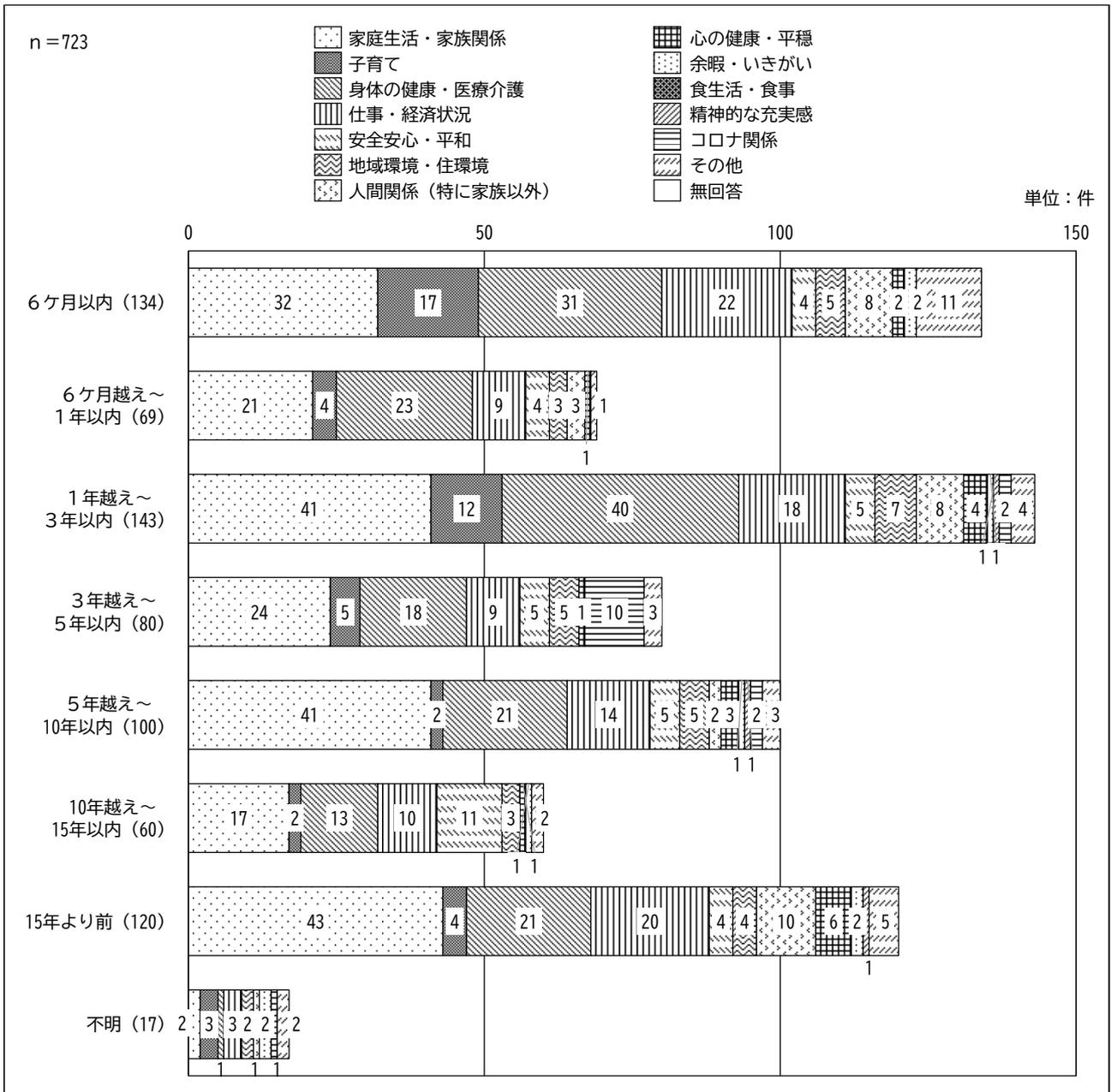
「幸せだと感じる」の回答者のうち、「仕事・経済状況」に関する記述は174件（30.6%）となっている。次いで「安全安心・平和」に関する記述は153件（26.9%）、「身体の健康・医療介護」に関する記述は148件（26.1%）となっている。

(3) 人生に影響を与えるような出来事

■ 回答者の約2割の人が「1年越え～3年以内」に起こった出来事を回答。

■ 回答者の約3割の人が「家庭生活・家族関係」に関する出来事を回答。

問 17 現在のあなたの人生に影響を与えるような出来事は、いつ起きましたか？どのような出来事がありましたか？それによってどう感じましたか？



人生で影響を与えるような出来事（期間×出来事／回答数）

単位：件

出来事 期間	家庭生活・ 家族関係	子育て	身体 の健康・ 医療介 護	仕事・ 経済状 況	安全 安心・ 平和	地域 環境・ 住環境	（特 に人間 関係 以外）	心 の健康 ・平 穩	余 暇・ い き が い	食 生 活・ 食 事	精 神 的 な 充 実 感	コ ロ ナ 関 係	そ の 他	無 回 答	合 計
6ヶ月以内	32	17	31	22	4	5	8	2	2	0	0	0	11	0	134
6ヶ月越え～ 1年以内	21	4	23	9	4	3	3	1	0	0	0	0	1	0	69
1年越え～ 3年以内	41	12	40	18	5	7	8	4	1	0	1	2	4	0	143
3年越え～ 5年以内	24	5	18	9	5	5	0	1	0	0	0	10	3	0	80
5年越え～ 10年以内	41	2	21	14	5	5	2	3	1	0	1	2	3	0	100
10年越え～ 15年以内	17	2	13	10	11	3	0	1	1	0	0	0	2	0	60
15年より前	43	4	21	20	4	4	10	6	2	0	1	0	5	0	120
不明	2	3	1	3	0	2	1	0	2	0	0	1	2	0	17
合計	221	49	168	105	38	34	32	18	9	0	3	15	31	0	723

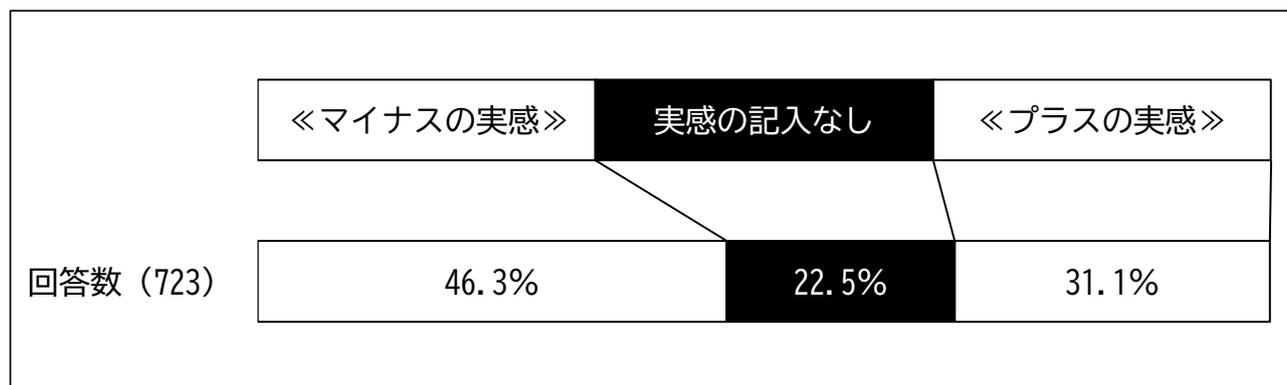
現在の人生に影響を与えるような出来事について、その内容を13の分野（その他を含む）に出来事が起こった時期を7時期に分類して集計を行った。回答者によって複数の回答があったため、回答数は723件（回答者数は646人）であった。

このうち時期は、「1年越え～3年以内」の出来事が143件（19.8%）で最も多く、次いで「6ヶ月以内」の出来事は134件（18.5%）と多くなっている。

内容については、「家庭生活・家族関係」に関するものが221件（30.6%）で最も多く、次いで「身体の健康・医療介護」に関するものは168件（23.2%）と多くなっている。

「その出来事によってどう感じましたか」と尋ねたところ、「悲しかった」、「怖くなった」、「不安を感じた」等ネガティブに感じたとして回答した「マイナスの実感」が46.3%（回答数335件・回答者数315人）となっており、「嬉しかった」、「悲しかった」、「安心した」等ポジティブに感じたとして回答した「プラスの実感」31.1%（回答数225件・回答者数201人）を上回っている。なお、実感がプラス、マイナスのどちらにも含まれない回答や、両方の実感が含まれている回答については、「実感の記入なし」とした。

人生に影響を与えるような出来事（実感別／回答数の割合）



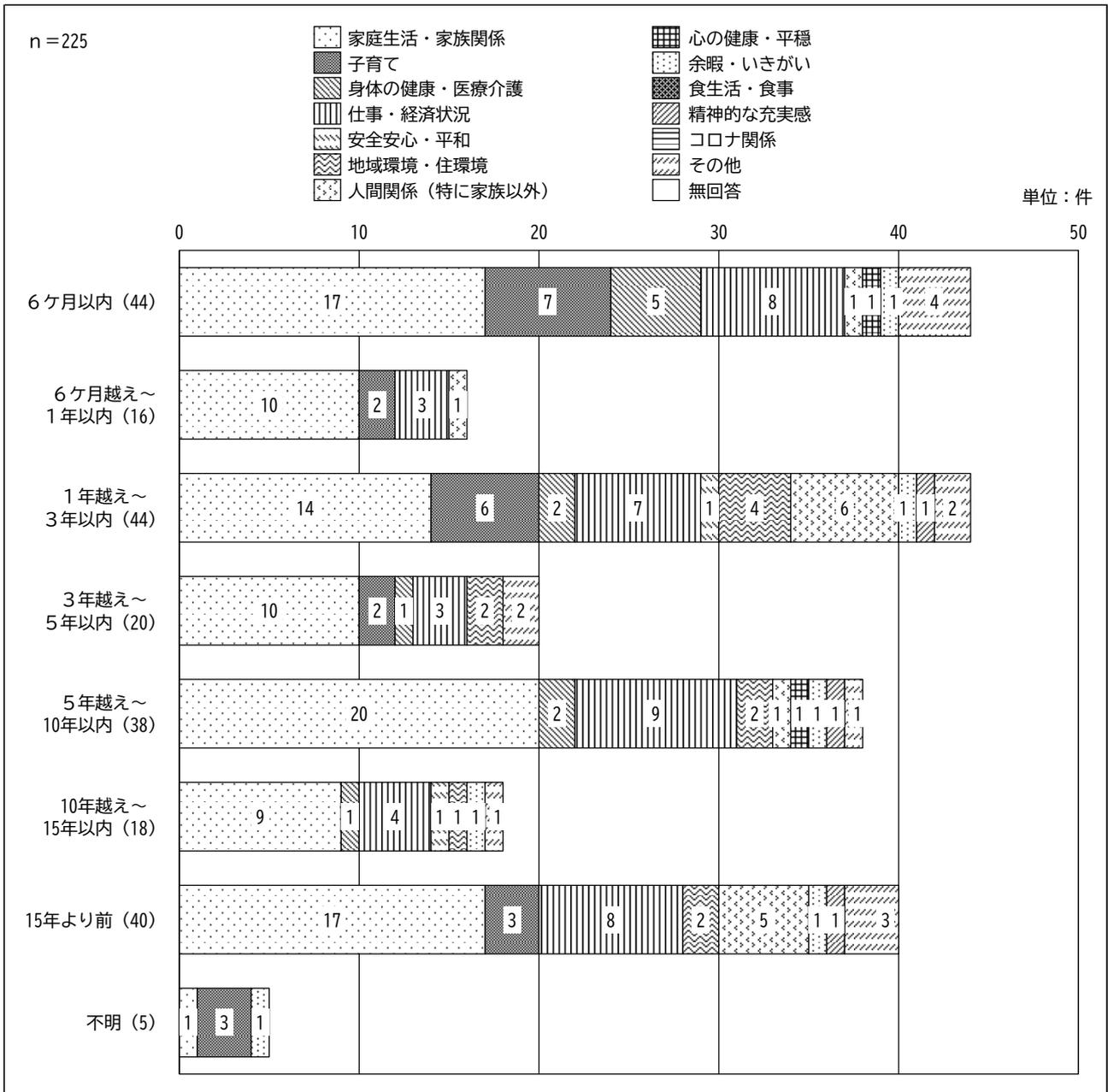
人生に影響を与えるような出来事（実感別×出来事／回答数、回答率）

期間	出来事	出来事													無回答	合計
		家庭生活・家族関係	子育て	身体の健康・医療介護	仕事・経済状況	安全安心・平和	地域環境・住環境	人間関係（特に家族以外）	心の健康・平穩	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	コロナ関係	その他		
プラスの実感	回答数	98	23	11	42	2	11	14	2	6	0	3	0	13	0	225
	回答率	43.6%	10.2%	4.9%	18.7%	0.9%	4.9%	6.2%	0.9%	2.7%	0.0%	1.3%	0.0%	5.8%	0.0%	100.0%
マイナスの実感	回答数	73	19	103	49	30	8	14	14	2	0	0	11	12	0	335
	回答率	21.8%	5.7%	30.7%	14.6%	9.0%	2.4%	4.2%	4.2%	0.6%	0.0%	0.0%	3.3%	3.6%	0.0%	100.0%
実感なし	回答数	50	7	54	14	6	15	4	2	1	0	0	4	6	0	163
	回答率	30.7%	4.3%	33.1%	8.6%	3.7%	9.2%	2.5%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	2.5%	3.7%	0.0%	100.0%
全体	回答数	221	49	168	105	38	34	32	18	9	0	3	15	31	0	723
	回答率	30.6%	6.8%	23.2%	14.5%	5.3%	4.7%	4.4%	2.5%	1.2%	0.0%	0.4%	2.1%	4.3%	0.0%	100.0%

出来事の内容を「プラスの実感」と「マイナスの実感」に分けて比較する。

「プラスの実感」を得た出来事（回答数 225 件・回答者数 201 人）について、起こった時期とその内容をみると、時期は「6ヶ月以内」と「1年越え～3年以内」が同数で 44 件（回答数の 19.6%）と多く、内容については「家庭生活・家族関係」に関するものが 98 件（回答数の 43.6%）と多くなっている。

人生に影響を与えるような出来事「プラスの実感」



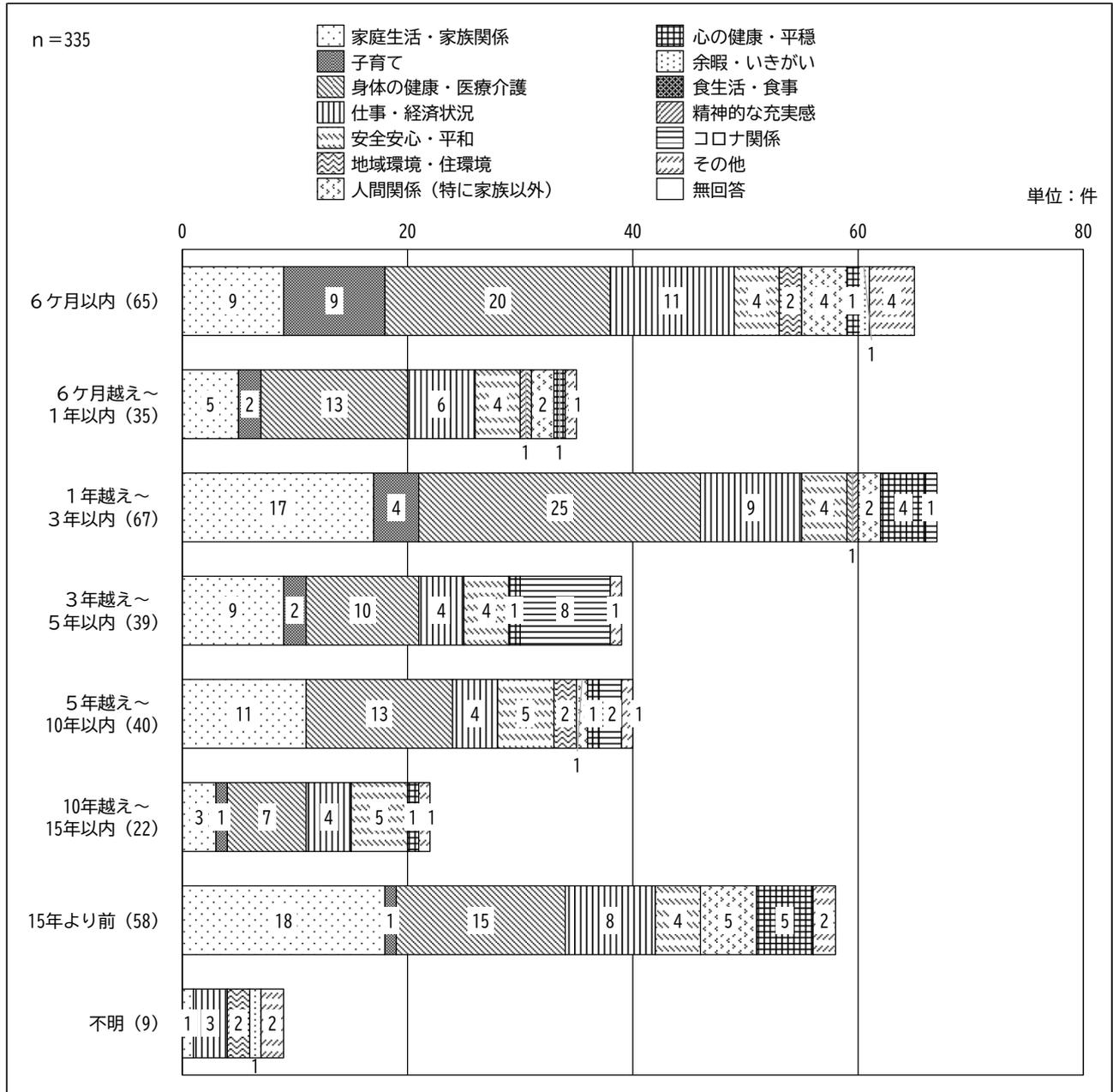
人生に影響を与えるような出来事≪プラスの実感≫（実感別×出来事／回答数）

単位：件

出来事 期間	家庭生活・家族関係	子育て	身体の健康・医療介護	仕事・経済状況	安全安心・平和	地域環境・住環境	人間関係 (特に家族以外)	心の健康・平穩	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	コロナ関係	その他	無回答	合計
6ヶ月以内	17	7	5	8	0	0	1	1	1	0	0	0	4	0	44
6ヶ月越え～ 1年以内	10	2	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	16
1年越え～ 3年以内	14	6	2	7	1	4	6	0	1	0	1	0	2	0	44
3年越え～ 5年以内	10	2	1	3	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	20
5年越え～ 10年以内	20	0	2	9	0	2	1	1	1	0	1	0	1	0	38
10年越え～ 15年以内	9	0	1	4	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	18
15年より前	17	3	0	8	0	2	5	0	1	0	1	0	3	0	40
不明	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5
合計	98	23	11	42	2	11	14	2	6	0	3	0	13	0	225

「マイナスの実感」を得た出来事（回答数 335 件・回答者数 315 人）について、起こった時期とその内容をみると、時期は「1年越え～3年以内」が67件（回答数の20.0%）と多く、内容については「身体の健康・医療介護」に関するものが103件（回答数の30.7%）と多くなっている。

人生に影響を与えるような出来事「マイナスの実感」



人生に影響を与えるような出来事≪マイナスの実感≫（実感別×出来事／回答数）

単位：件

期間 \ 出来事	家庭生活・家族関係	子育て	身体の健康・医療介護	仕事・経済状況	安全安心・平和	地域環境・住環境	人間関係 (特に家族以外)	心の健康・平穩	余暇・いきがい	食生活・食事	精神的な充実感	コロナ関係	その他	無回答	合計
6ヶ月以内	9	9	20	11	4	2	4	1	1	0	0	0	4	0	65
6ヶ月越え～1年以内	5	2	13	6	4	1	2	1	0	0	0	0	1	0	35
1年越え～3年以内	17	4	25	9	4	1	2	4	0	0	0	1	0	0	67
3年越え～5年以内	9	2	10	4	4	0	0	1	0	0	0	8	1	0	39
5年越え～10年以内	11	0	13	4	5	2	1	1	0	0	0	2	1	0	40
10年越え～15年以内	3	1	7	4	5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	22
15年より前	18	1	15	8	4	0	5	5	0	0	0	0	2	0	58
不明	1	0	0	3	0	2	0	0	1	0	0	0	2	0	9
合計	73	19	103	49	30	8	14	14	2	0	0	11	12	0	335

IV 参考資料（調査依頼文及び調査票）

令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する 区民アンケート調査ご協力をお願い

皆様におかれましては、日頃から区政にご協力をいただき誠にありがとうございます。

荒川区では、だれもが幸せを実感できるまち「幸福実感都市あらかわ」の実現を目指して、荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピネス：GAH）に取り組んでいます。荒川区民総幸福度（GAH）とは、区民の皆様がどれだけ幸せを感じているかを測る指標を作成し、それを測定、分析することで、区民の皆様の幸福実感が向上するような、より良い区政運営につなげていくものです。

平成25年度からは、区民の皆様が日々の生活のなかで感じていることや地域について実感していることなどを伺わせていただき、区における施策の充実等につなげていこうとする「荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査」を実施しています。

本調査は、住民基本台帳から無作為に抽出した4,000名の方に調査票を郵送しています。調査の結果は区民サービス向上のための貴重な資料となります。お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年8月

荒川区長 滝口 学

回答は、《郵送》または《インターネット（電子申請）》から行うことができます。

いずれかの方法で、令和7年9月1日（月）までに、ご返信ください。

□ 郵送でご回答いただける場合

同封した返信用封筒に調査票を入れて、郵便ポストにご投かんください。（切手は不要です）

□ インターネット（電子申請）でご回答いただける場合

次の①か②の方法で回答ページにアクセスしていただき、調査票の表紙に記載されている申請者IDとパスワードを入力して、手順に沿って回答してください。

- ① スマートフォンの場合は、右記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。

QRコード⇒



- ② 荒川区の電子申請の専用回答ページ（<https://logoform.jp/form/bUir/990384>）にアクセスし、アンケートに回答してください。（詳細は3ページ以降をご覧ください。）

※インターネットでご回答いただける場合には、郵送での調査票の返信は不要です。

調査は無記名で、お答えいただいた内容はプライバシーに関わる内容が公表されることは一切ありませんが、オープンデータとして公開されることがあります。公開する回答内容に個人を特定できる情報があった場合には加工した上で公開をします。ご理解とご協力をお願いいたします。

担当／荒川区 総務企画部 総務企画課 [受付時間/月～金 8：30～17：15]

電話 03-3802-3111 内線 2115

委託先／株式会社綜研情報工芸 [受付時間/月～金 9：00～17：00]

電話03-5427-4050 担当 中村、本山

郵送での回答方法

- ① 郵送による回答の場合には、ご記入の際、濃い鉛筆か、黒又は青のボールペン・万年筆をお使いください。
- ② 次の回答例に従ってお答えください。

■5段階で評価していただく質問の回答例

問□ 次の(1)から(2)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感 ま じ な い	ま っ た く	→	感 大 じ る に	わ か ら な い	
(1) 体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？ ※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含まれます。	1	2	③	4	5	0
(2) 健康的な食生活を送ることができていると感じますか？	1	2	3	4	5	①

各設問に対し、あなたの感じ方の度合いに応じて、1から5までの数字どれか1つに○印を付けてください。1が「まったく感じない」、5が「大いに感じる」となります。わからない場合は、0の「わからない」にのみ○印を付けてください。

■重要だと思う順に項目を選択していただく質問の回答例

問□ あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を□の中に記入してください。
(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位 1 第2位 3 第3位 6

選択項目

- 1 興味・関心のあることに取り組むことができていること
- 2 生涯にわたって学習できる環境があること
- 3 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じること
- 4 地域の人との交流があること
- 5 地域に頼れる人がいること
- 6 文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気が地域にあること

上記は、最も重要だと思う「1 興味・関心のあることに取り組むことができていること」の番号を第1位の□に、2番目に重要だと思う「3 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じること」の番号を第2位の□に、3番目に重要だと思う「6 文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気が地域にあること」の番号を第3位の□に記入した例です。

■順位を付けていただく質問の回答例

問□ 次の6つの分野（Ⅰ～Ⅵ）について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、記入欄に順位（1～6位）を記入してください。（番号はそれぞれ1つずつ）

分野	概要	記入欄 (順位)
Ⅰ 健康・福祉	心や体の健康、健康を維持するための環境、福祉サービスなどについて	1
Ⅱ 子育て・教育	家庭における子育て、子どもの知識・技能や社会性等の成長、地域の子育て環境などについて	5
Ⅲ 産業	収入やワークライフバランス（仕事と生活の調和）、地域経済・まちの魅力などについて	3
Ⅳ 環境	バリアフリーの状況、交通の便、まちなみの良さ、快適さ、地球環境に配慮した生活などについて	4
Ⅴ 文化	余暇、生涯学習環境、地域文化への愛着や地域交流などについて	6
Ⅵ 安全・安心	犯罪・事故・災害に対する安全や安心などについて	2

上記は、「Ⅰ 健康・福祉」が最も重要で、2番目に「Ⅵ 安全・安心」、3番目に「Ⅲ 産業」、4番目に「Ⅳ 環境」、5番目に「Ⅱ 子育て・教育」、6番目に「Ⅴ 文化」を重要だと思っている場合の記入例です。

■回答を1つだけ選択していただく質問の回答例

問□ あなたの年齢は次のうちどれですか。（○は1つだけ）

- 1 18・19歳 2 20～24歳 3 25～29歳 4 30～34歳
 5 35～39歳 6 40～44歳 7 45～49歳 8 50～54歳
 9 55～59歳 10 60～64歳 11 65～69歳 12 70～74歳
 13 75～79歳 14 80歳以上

例えば、年齢が43歳の場合は、6に○印を付けてください。

インターネット（電子申請）での回答方法と注意事項

- ① 回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から当てはまるものを選択してください。
なお、「その他」を選ばれた場合は、「その他欄」にその内容を具体的にご記入ください。
- ② 質問に該当する方のみにご回答いただく質問もありますが、その場合は説明文に従って
お答えください。
- ③ スマートフォン・パソコンのブラウザの「戻る」機能を使用すると、正常な回答ができ
ないため、ご使用しないようお願いします。
- ④ セキュリティー確保のため、調査票画面を開いてから24時間で調査画面への接続が
切れる仕組みになっておりますので、時間内にご回答くださるようお願いいたします。
- ⑤ 全てのご回答が終わりましたら、「確認画面へ進む」ボタンを選択し、回答内容の確
認が済みましたら「送信」ボタンを選択してください。送信完了（受付番号が表示
される）の画面が表示されましたら、回答は終了です。
- ⑥ 令和7年9月1日（月）までに回答を送信してください。
（インターネットでご回答いただける場合には、調査票の郵送による返信は不要です）
- ⑦ インターネットへの接続料金は利用者様のご負担となります。

□ 調査画面へのアクセス方法

スマートフォンの場合

- ① 右記のQRコードを読み取り、調査票の表紙に記載されているユーザ(申請者)IDとパスワードを入力して「次の画面へ進む」ボタンを選択してください。
- ② 入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。

【QRコード】



パソコンの場合

- ① 荒川区の電子申請の専用回答ページにアクセスしてください。
(<https://logoform.jp/form/bUir/990384>)
ユーザ(申請者)IDとパスワードの入力画面が表示されます。ユーザ(申請者)IDとパスワードを入力して「次の画面へ進む」ボタンを選択してください。

令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

入力フォーム

1 入力 2 入力2 3 確認 4 完了

下記のフォームにご入力をお願いします。

事前にお配りした調査票に記載されている「申請者ID」を入力してください。 必須

0 / 60000

事前にお配りした調査票に記載されている「パスワード」を入力してください。 必須

0 / 60000

→ 次の画面へ進む 入力内容を一時保存する



- ② 入力画面が表示されますので、順に回答をしてください。
全ての回答が終わりましたら、画面の下部に表示される「確認画面へ進む」ボタンを選択してください。
※ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないようお願いします。

4. 9～11歳

5. 12～14歳

6. 15～17歳

7. 18～19歳

8. 20歳以上

問3 1 外国人住民の皆様意向や生活習慣などを把握させていただくため、外国籍の方はチェックをお付けいただきますようお願いいたします。

外国籍である

問3 2 外国籍の方におたずねします。日本にお住まいになって通算何年になりますか。

< 1つ前の画面に戻る → 確認画面へ進む 入力内容を一時保存する



- ③ 入力確認画面が表示されますので、回答内容を確認し、「送信」ボタンを選択してください。

令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

入力フォーム

入力1 入力2 3 確認 4 完了

入力内容確認

事前にお配りした調査票に記載されている「申請者ID」を入力してください。

問30 お子さんがいらっしゃる方におたずねします。お子さんの年齢について、あてはまるものをすべて選んでください。

6. 15～17歳

問31 外国人住民の皆様のご意向や生活習慣などを把握させていただくため、外国籍の方はチェックをお付けいただきますようお願いいたします。

問32 外国籍の方におたずねします。日本にお住まいになって通算何年になりますか。

← 最初に戻る ← 1つ前の画面に戻る → 送信



- ④ 「送信完了」画面が表示されましたら回答完了です。

令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

入力フォーム

入力1 入力2 3 確認 4 完了

送信完了

ご入力ありがとうございました。

< 受付番号: F000000557 >

入力内容を印刷する

最初の画面に戻る

ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

この調査は、区民の皆様が日々の生活のなかで感じていることや実感していることなどについて伺う調査です。

調査票

回答は、《郵送》または《インターネット》で令和7年9月1日（月）までにご返信ください。

■インターネット（電子申請）でご回答いただける場合には、以下の申請者IDとパスワードを入力して、ご回答ください。

（すべて半角英数）

申請者ID：

パスワード：



スマートフォンでご回答いただける方は、上記のQRコードを読み取り、アクセスしてください。

※パスワードは、記号1文字と数字9文字（計10文字）です。

※この申請者IDとパスワードは、インターネット（電子申請）により本調査の回答を行うためのものであり、どの回答者がどの申請者IDを使用しているか特定することができないようになっております。そのため、個人が特定されることはなく、回答いただいた内容について、個別にお答えすることはできませんのでご了承ください。

※回答は、ご本人様にご記入くださるようお願いいたします。ただし、諸事情により、ご本人様によるご記入が難しい場合には、ご家族の方等がご自身の立場でお答えくださいますようお願いいたします。

I 健康・福祉の分野についておたずねします

問1 次の(1)から(9)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	ま っ た く 感 じ な い						大 じ る に 感 じ る	わ か ら な い
(1) 体を動かしたり運動したりすることができていると思いますか？ ※体を動かしたり運動したりすることには、スポーツだけでなく、散歩や階段の利用なども含みます。	1	2	3	4	5	0		
(2) 健康的な食生活を送ることができていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(3) 体を休めることができていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(4) 孤立感や孤独感を感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(5) 家庭や職場、学校、地域などで、自分の役割があると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(6) 心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(7) お住まいの地域に、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(8) お住まいの地域では、高齢者や障がい者への福祉が充実していると感じますか？ ※福祉の充実とは、高齢者の介護施設や障がい者の生活支援施設といった施設の数や福祉サービスの質の充実などを指します。	1	2	3	4	5	0		
(9) 心身ともに健康的な生活を送ることができていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		

問2 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を口の中に記入してください。
(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

選択項目

- 1 体を動かしたり運動したりできること
- 2 健康的な食生活を送れること
- 3 体を休めることができること
- 4 孤立感や孤独感がないこと
- 5 自分の役割があること
- 6 心が安らぐ時間を持っていること
- 7 医療機関（病院や薬局など）が地域に充実していること
- 8 高齢者や障がい者への福祉が地域に充実していること

次の質問にお進みください→

Ⅱ 子育て・教育の分野についておたずねします

18歳未満のお子さん（同居・別居問わず）がいらっしゃる方は問3に、
 いらっしゃらない方は問5（5ページ）にお進みください。

問3 次の（1）から（8）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに
 ○を付けてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	感 ま じ な た く						感 大 じ る に	わ か ら な い
（1）お子さんが規則正しい生活習慣を身につけていると 思いますか？	1	2	3	4	5	0		
（2）お子さんが、社会で生活していく上で必要な知識や 技能、社会性、体力などを身につけていると思いま すか？	1	2	3	4	5	0		
（3）親子の間でコミュニケーションがとれていると感じ ますか？	1	2	3	4	5	0		
（4）あなたのご家族には、子育てに関する理解や協力が あると感じますか？ ※ここでの家族には、配偶者またはパートナー、ご自身及び 配偶者またはパートナーの親、親類などを含み、同居して いるか否かは問いません。	1	2	3	4	5	0		
（5）お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・ サービス・施設など（提供しているのが、民間か行 政かを問わず）が充実していると思いますか？	1	2	3	4	5	0		
（6）お住まいの地域に、子育て家庭に対して理解し、協 力する雰囲気があると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
（7）自分が望む子育てができるような環境があると感じ ますか？ ※ここでの環境には、子育てに関する家族や地域、会社のサ ポート、社会制度などを含みます。	1	2	3	4	5	0		
（8）お子さんが健やかに成長していると感じますか？	1	2	3	4	5	0		

(※問4は18歳未満のお子さんがいらっしゃる方のみ、お答えください。それ以外の方は問5(5ページ)にお進みください)

問4 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を口の中に記入してください。
(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位 第2位 第3位

選択項目

- 1 子どもが規則正しい生活習慣を身に付けていること
- 2 子どもが社会で生活していく上で必要な知識・技能・社会性・体力などを身に付けていること
- 3 親子のコミュニケーションがとれていること
- 4 子育てに関する家族の理解・協力があること
- 5 子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが地域に充実していること
- 6 子育て家庭に対して理解・協力する雰囲気があること
- 7 自分が望む子育てができるような環境があること

次の質問にお進みください→

Ⅲ 産業の分野についておたずねします

問5 次の(1)から(7)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	ま っ た く 感 じ な い						大 い に 感 じ る	わ か ら な い
(1) 生活を送るために必要な収入を得ていくことに不安を感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(2) 仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？ ※専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。	1	2	3	4	5	0		
(3) 仕事に、やりがいや充実感を感じますか？ ※専業の主婦・主夫の方は、家事等を仕事と考えてご回答ください。	1	2	3	4	5	0		
(4) 荒川区の企業（お店や町工場など）は元気で活力があると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(5) お住まいの地域での買い物が便利だと思いますか？	1	2	3	4	5	0		
(6) 荒川区は、区外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？	1	2	3	4	5	0		
(7) 経済的な不安がなく、買い物などに不便のない生活を送ることができていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		

問6 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を口の中に記入してください。
(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位 第2位 第3位

選択項目

- 1 生活を送るために必要な収入があること
- 2 仕事と生活とのバランスが取れていること
- 3 仕事にやりがいや充実感があること
- 4 まちの企業（お店や町工場など）が元気で活力があること
- 5 地域での買い物が便利なこと
- 6 まちに区外から人が訪れたい魅力があること

IV 環境の分野についておたずねします

問7 次の(1)から(7)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感 ま じ た く な い						感 大 じ る に	わ か ら な い
(1) お住まいの地域の商業施設や公共施設が、バリアフリーの面から、だれもが使いやすいと思いますか？ ※バリアフリーとは、障がい者や高齢者が生活をする上で支障がないよう、建物の段差等を解消することを指します。	1	2	3	4	5	0		
(2) お住まいの地域には、困っている人を見かけた時に、声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気があると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(3) お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？ ※ここでの交通には、交通機関、自転車、自動車や徒歩での移動などを含みます。	1	2	3	4	5	0		
(4) お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(5) お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？ ※ここでの不快さには、放置自転車、ポイ捨てなどを含みます。	1	2	3	4	5	0		
(6) あなたは、節電やごみの減量など、地球環境に配慮した生活をしていると思いますか？	1	2	3	4	5	0		
(7) お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？	1	2	3	4	5	0		

問8 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を口の中に記入してください。

(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

選択項目

- 1 地域の商業施設や公共施設が、だれでも使いやすいこと
- 2 困った人に声を掛けたり協力したりしやすい雰囲気が地域にあること
- 3 地域の交通の便が良いこと
- 4 地域のまちなみ（景観・緑など）が良いこと
- 5 地域に放置自転車やポイ捨てなどによる不快さがないこと
- 6 節電やごみの減量など地球環境に配慮した生活すること

V 文化の分野についておたずねします

問9 次の(1)から(7)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感ま じな たく						感大 じい るに	わ か ら な い
(1) 興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(2) 生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？ ※生涯にわたって学習できる環境とは、図書館や学習施設、スポーツ施設など、だれもが利用できる施設が整備され、学びやスポーツなどができるような環境のことを指します。	1	2	3	4	5	0		
(3) 荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(4) お住まいの地域の方と交流することで充実感が得られていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(5) お住まいの地域に頼れる人がいると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(6) お住まいの地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(7) 充実した余暇・文化活動や地域の方とのふれあいのある生活が送れていると感じますか？	1	2	3	4	5	0		

問10 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を口の中に記入してください。

(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位 第2位 第3位

選択項目

- 1 興味・関心のあることに取り組むことができていること
- 2 生涯にわたって学習できる環境があること
- 3 地域の文化や特色に愛着や誇りを感じることに
- 4 地域の人との交流があること
- 5 地域に頼れる人がいること
- 6 文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気が地域にあること

VI 安全・安心の分野についておたずねします

問11 次の(1)から(7)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感ま じな たく						感大 じる に	わ か ら な い
(1) お住まいの地域で、犯罪への不安を感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(2) お住まいの地域で、自動車や自転車などの交通事故の危険を感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(3) 家庭や学校・職場などで、転倒、転落、落下物などの危険を感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(4) 災害(地震・火災・風水害)に対する備えを十分にしている安心感がありますか？	1	2	3	4	5	0		
(5) 災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(6) お住まいの地域は災害に強いと感じますか？	1	2	3	4	5	0		
(7) お住まいの地域は犯罪や事故、災害などの点から総合して安全だと感じますか？	1	2	3	4	5	0		

問12 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を口の中に記入してください。
(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

選択項目

- 1 犯罪への不安がないこと
- 2 交通事故の危険がないこと
- 3 転倒・転落・落下物などの危険がないこと
- 4 災害に対する備えがあること
- 5 災害時に近隣の人と助け合う関係があること
- 6 地域が災害に強いこと

I～VIすべての分野についておたずねします

問13 次の6つの分野（I～VI）について、あなたの幸せにとって重要だと思う順に、記入欄に順位（1～6位）を記入してください。（番号はそれぞれ1つずつ）

分野	概要	記入欄
I 健康・福祉	心や体の健康、健康を維持するための環境、福祉サービスなどについて	
II 子育て・教育	家庭における子育て、子どもの知識・技能や社会性等の成長、地域の子育て環境などについて	
III 産業	収入やワークライフバランス（仕事と生活の調和）、地域経済・まちの魅力などについて	
IV 環境	バリアフリーの状況、交通の便、まちなみの良さ、快適さ、地球環境に配慮した生活などについて	
V 文化	余暇、生涯学習環境、地域文化への愛着や地域交流などについて	
VI 安全・安心	犯罪・事故・災害に対する安全や安心などについて	

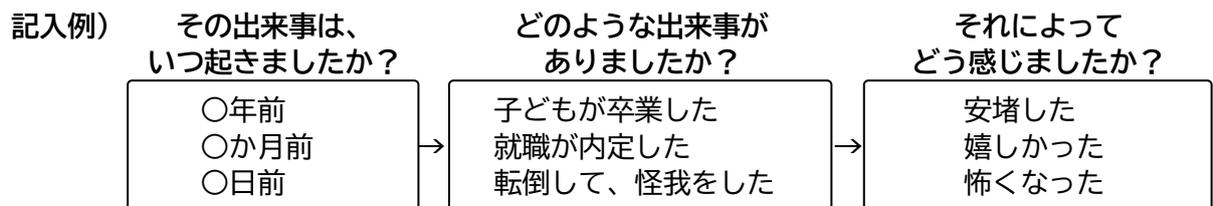
問14 あなたは、幸せだと感じますか？あなたの実感に最も近いもの1つに○を付けてください。（○は1つだけ）

感ま じな いた く						感大 じる に	わ か ら な い
1	2	3	4	5	0		

問15 あなたの幸せにとって重要だと思うことは何ですか？次の欄に自由にご記入ください。

問16 あなたにとって不幸だと感じることや、生活をしていく上で不安だと感じることはありませんか？次の欄に自由にご記入ください。

問17 現在のあなたの人生に影響を与えるような出来事があった方は、次の欄に自由にご記入ください。



その出来事は、いつ起きましたか？

どのような出来事がありましたか？

それによってどう感じましたか？

あなたご自身についてお答えください

最後に、お答えいただいた「あなた」ご自身のことについておたずねします。
これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、ぜひ、
ご記入ください。

問18 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 男性 2 女性 3 その他(どちらでもない、わからない)

問19 あなたの年齢は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

- 1 18・19歳 2 20～24歳 3 25～29歳 4 30～34歳
5 35～39歳 6 40～44歳 7 45～49歳 8 50～54歳
9 55～59歳 10 60～64歳 11 65～69歳 12 70～74歳
13 75～79歳 14 80歳以上

問20 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。(○は1つだけ・[]内に丁目を記入)

- 1 南千住[]丁目 2 荒川[]丁目 3 町屋[]丁目
4 東尾久[]丁目 5 西尾久[]丁目 6 東日暮里[]丁目
7 西日暮里[]丁目

問21 あなたが荒川区にお住まいになって通算何年になりますか。(○は1つだけ)

- 1 1年未満 2 1～2年 3 3～4年 4 5～9年
5 10～14年 6 15～19年 7 20年以上

問22 あなたのお住まいは次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

- 1 持ち家(一戸建て) 2 持ち家(集合住宅)
3 借家(一戸建て) 4 借家(集合住宅)
5 寮・社宅 6 その他()

問23 あなたのご職業は次のうちどれですか。(○は1つだけ)

※複数の職がある場合は、主となるほうを選択してください。

- | | | |
|------------|--------------------|-----------|
| 1 自営業主 ※1 | 2 正規の職員、従業員 | } 雇われている人 |
| 3 会社などの役員 | 4 労働者派遣事業所の派遣社員 ※2 | |
| 5 家族従業者 ※3 | 6 パート、アルバイトなど ※4 | |
| 7 学生 | 8 専業主婦、専業主夫 | |
| 9 無職 | 10 その他 () | |

※1 自営業主とは、個人で事業を営んでいる人(農業などを含む)や自由業の人を指します。

※2 労働者派遣事業所の派遣社員とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人を指します。

※3 家族従業者とは、商店など自営業主の家族で、その自営業に従事している人を指します。

※4 パート、アルバイトなどには、契約社員、嘱託、非常勤職員なども含まれます。

問24 問23で1～6とご回答された方におたずねします。

あなたが就業されている日の一日あたりの平均的な就業時間(休憩時間は除き、残業時間は含む)は、次のうちのどれですか。(○は1つだけ)

※複数の職がある場合は、合算した就業時間でお答えください。

- | | |
|-----------|----------|
| 1 4時間未満 | 2 4～5時間 |
| 3 6～7時間 | 4 8～9時間 |
| 5 10～11時間 | 6 12時間以上 |

問25 問23で「9 無職」とご回答された方におたずねします。

現在の状況は次のどれに当たりますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 仕事を探している | 2 仕事を探していない |
| 3 その他 () | |

問26 あなたに配偶者またはパートナーはいらっしゃいますか。(○は1つだけ)

- 1 現在、配偶者またはパートナーがいる → 問27にお進みください
- 2 離婚・死別等で現在は配偶者またはパートナーがいない → 問28にお進みください
- 3 配偶者またはパートナーがいたことはない → 問28にお進みください

問27 配偶者またはパートナーがいらっしゃる方におたずねします。
 あなたの配偶者またはパートナーのご職業は次のうちどれですか。(○は1つだけ)
 ※複数の職がある場合は、主となるほうを選択してください。

- | | | |
|------------|--------------------|-----------|
| 1 自営業主 ※1 | 2 正規の職員、従業員 | } 雇われている人 |
| 3 会社などの役員 | 4 労働者派遣事業所の派遣社員 ※2 | |
| 5 家族従業者 ※3 | 6 パート、アルバイトなど ※4 | |
| 7 学生 | 8 専業主婦、専業主夫 | |
| 9 無職 | 10 その他 () | |

※1 自営業主とは、個人で事業を営んでいる人（農業などを含む）や自由業の人を指します。
 ※2 労働者派遣事業所の派遣社員とは、労働者派遣法に基づいて派遣されている人を指します。
 ※3 家族従業者とは、商店など自営業主の家族で、その自営業に従事している人を指します。
 ※4 パート、アルバイトなどには、契約社員、嘱託、非常勤職員なども含まれます。

問28 あなたの世帯全体の年間収入は、ボーナスを含めておよそどのくらいですか。
 (○は1つだけ) ※社会保険料や所得税などを含めてお答えください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 100万円未満 | 2 100万円以上200万円未満 |
| 3 200万円以上400万円未満 | 4 400万円以上600万円未満 |
| 5 600万円以上800万円未満 | 6 800万円以上1,000万円未満 |
| 7 1,000万円以上 | |

問29 あなたの家族構成は次のうちどれにあたりますか。(○は1つだけ)
 ※同居の状況についてお答えください。

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1 一人暮らし | 2 夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む） |
| 3 親・子（二世世代家族） | 4 親・子・孫（三世世代家族） |
| 5 その他 () | |

問30 お子さんがいらっしゃる方におたずねします。
 お子さんの年齢について、当てはまるものをすべて選んでください。
 ※例えば、0歳と2歳のお子さんがいらっしゃる場合は「1」、1歳と6歳のお子さんがいらっしゃる場合は「1」と「3」を選択してください。同居・別居に関わらずお答えください。

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1 0～2歳 | 2 3～5歳 | 3 6～8歳 | 4 9～11歳 |
| 5 12～14歳 | 6 15～17歳 | 7 18～19歳 | 8 20歳以上 |

問3 1 外国人住民の皆様の意向や生活意識などを把握させていただくため、外国籍の方は次の欄に○をお付けいただきますようお願いいたします。

問3 2 外国籍の方におたずねします。
日本にお住まいになって通算何年になりますか。

- | | | | | | |
|---|------|---|-------|---|------|
| 1 | 1年未満 | 2 | 1～2年 | 3 | 3～4年 |
| 4 | 5～9年 | 5 | 10年以上 | | |

以上でアンケートは終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。

ご協力ありがとうございました



令和7年度荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査

＜ 集計結果 ＞

2026年（令和8年）2月発行

登録番号（07）0094号

発行：荒川区 総務企画部 総務企画課

東京都荒川区荒川2-2-3

電話 03-3802-3111（代表）



荒川区